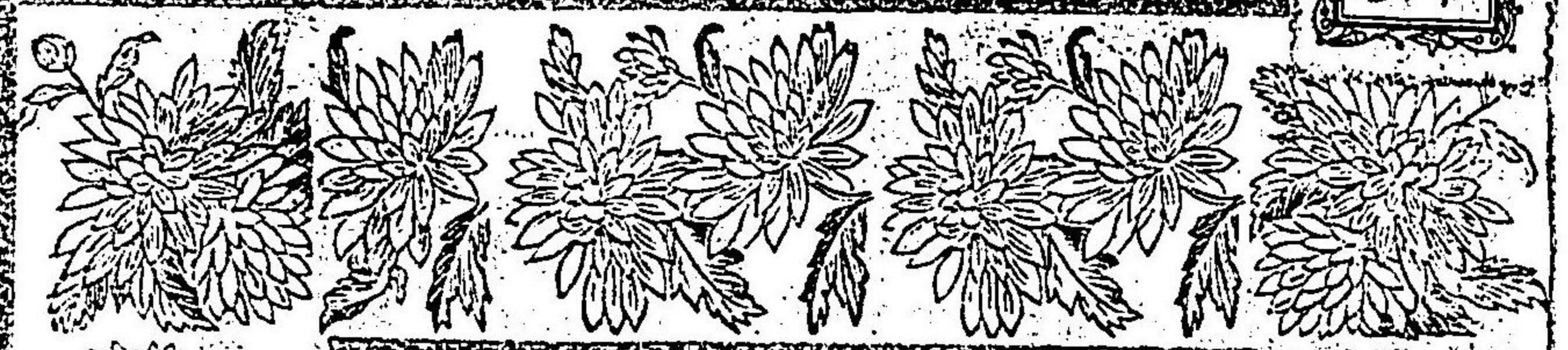


134

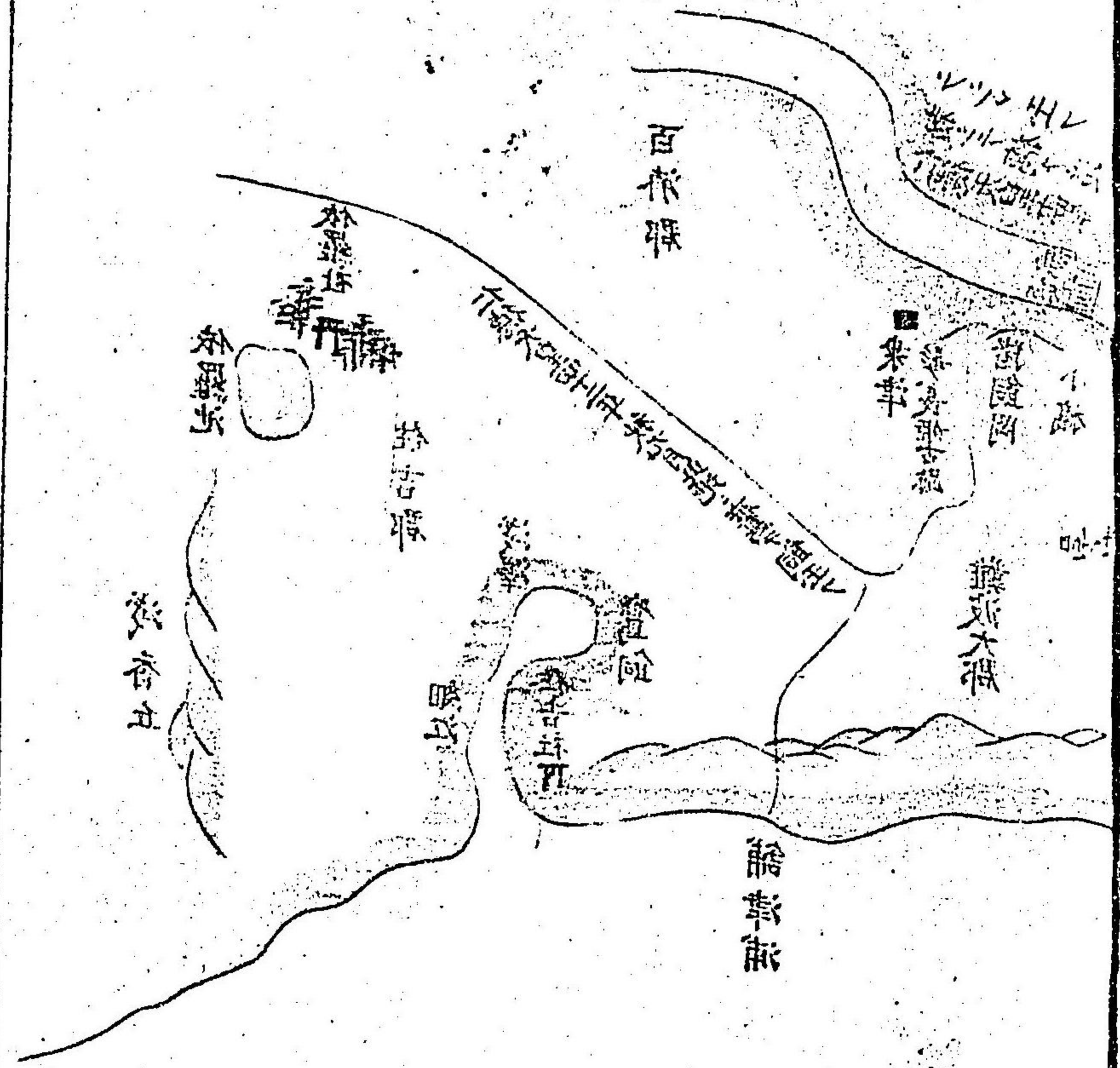
166
371
184



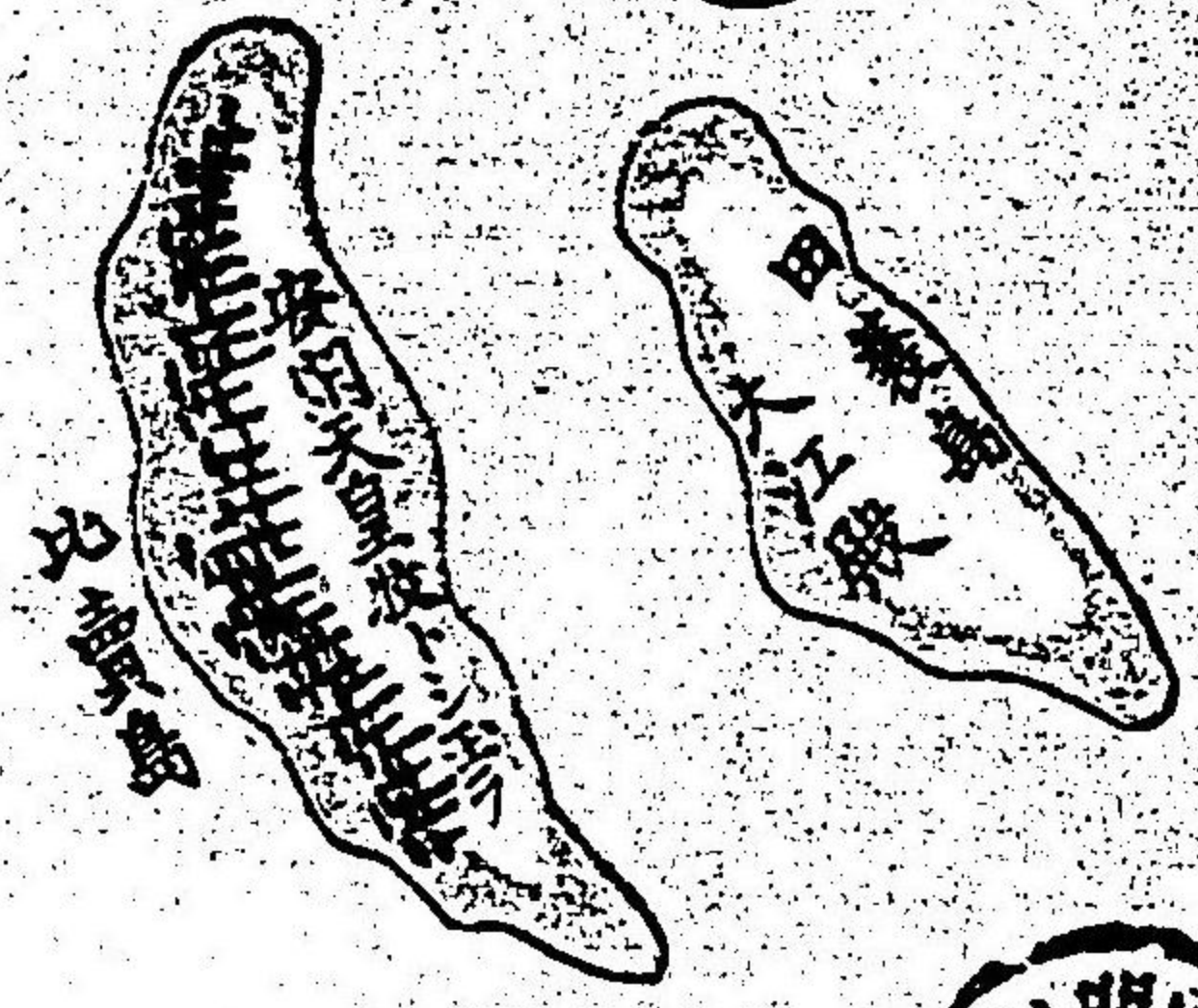
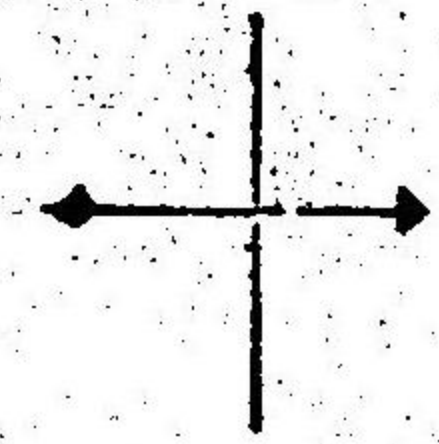
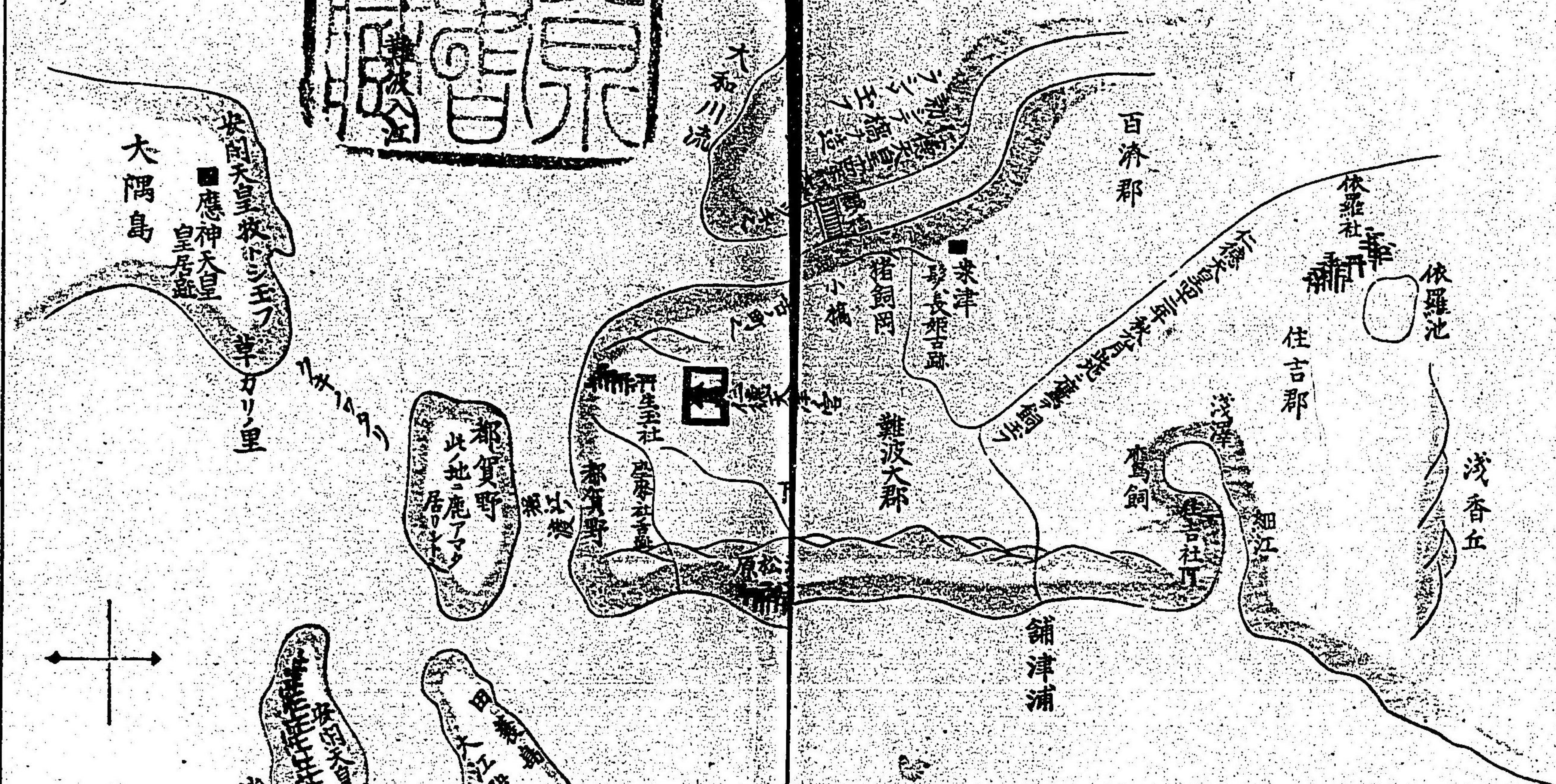
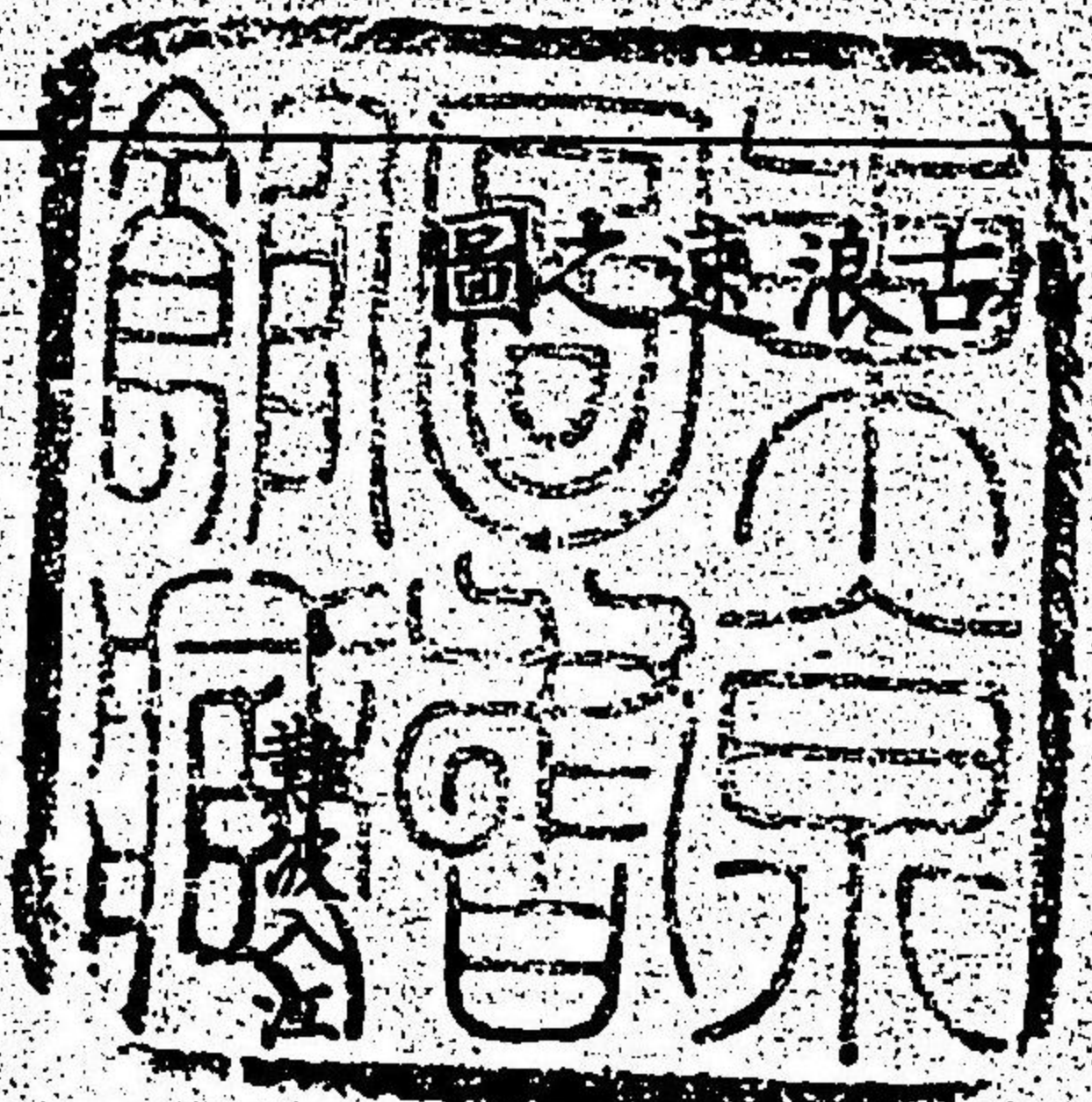
浪
定
天
海
記

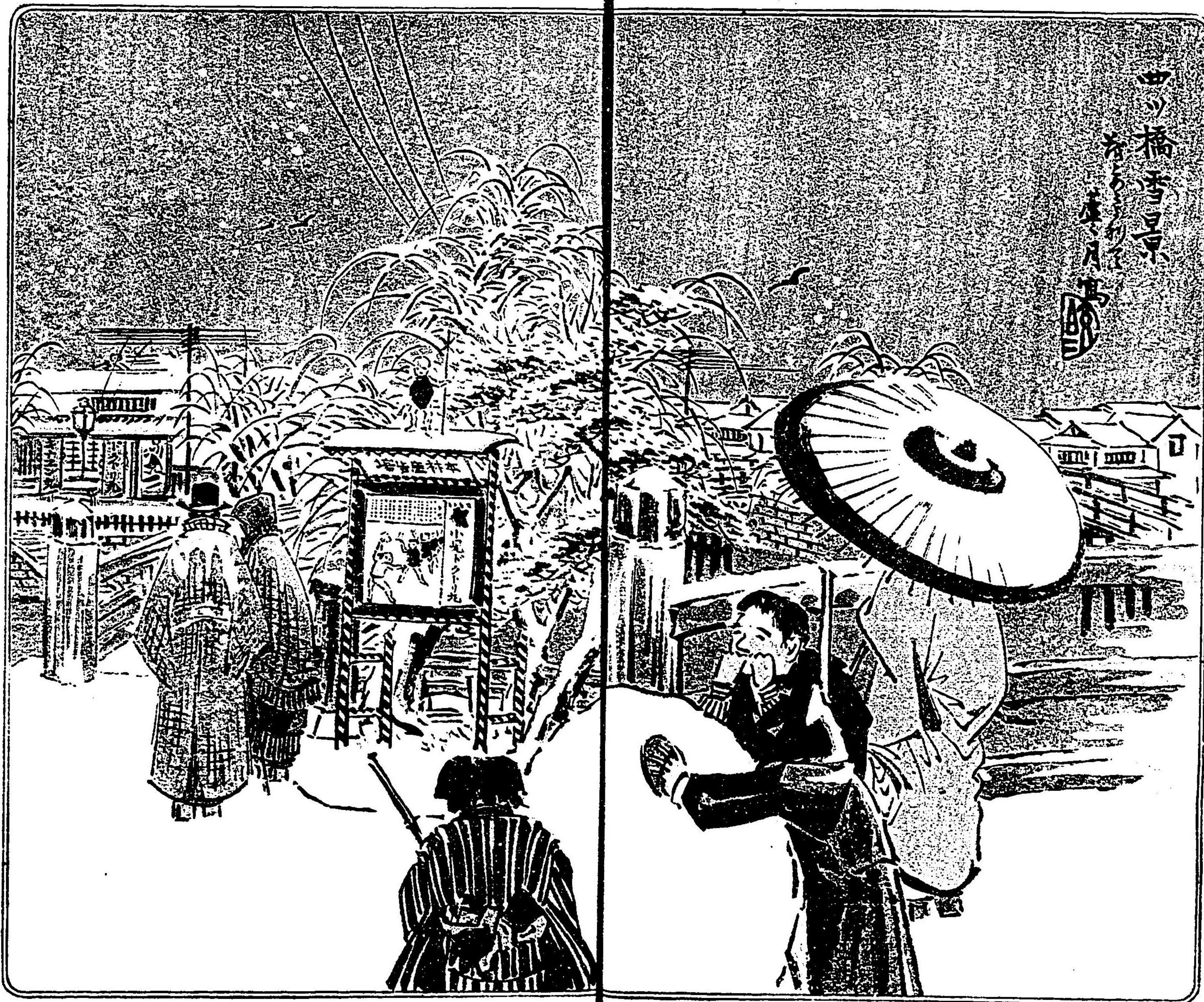


天皇開安印天皇



仁德天皇歸安閑天皇一代至





内藤藩御用



徴毒瘡毒淋疾毒志つけ下し

ドクトリ丸

大坂四ツ橋西詰南三ノ入
藥劑師 本林平三郎監製



大坂堂行

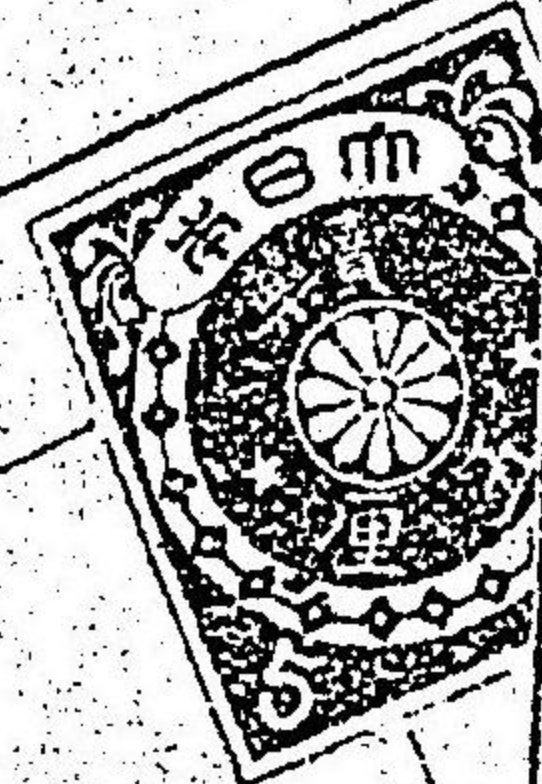


表	價	瓶
一	一	一
四	半	日
週	週	分
分	分	分
桐	七	二
箱	五	包
入	包	入
	入	入
	金	金
	三	拾
	拾	五
	錢	錢
	四	錢

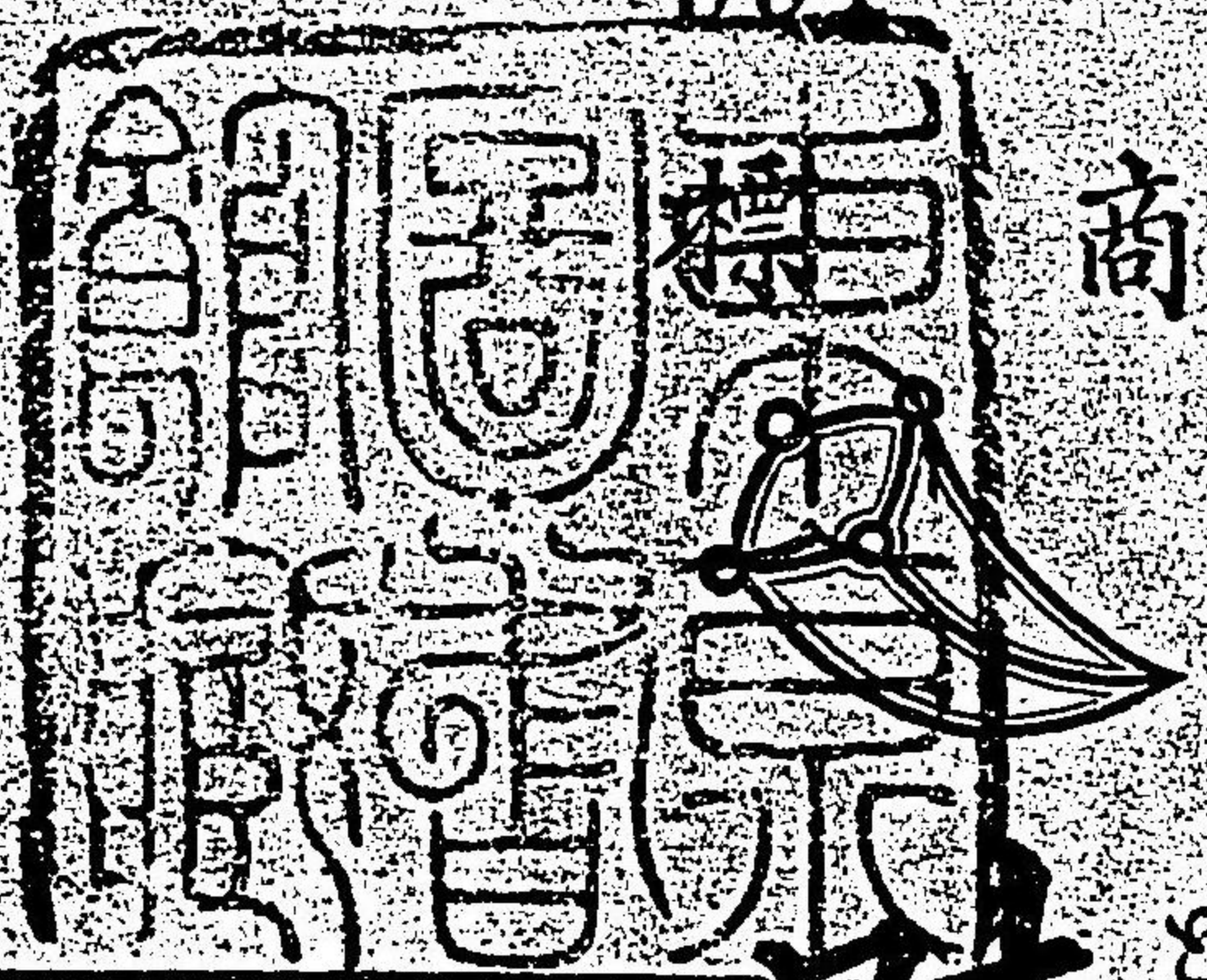
大坂堂行 西門外野原町西門外



特29

991

定價
 二包入 金五錢
 一包入 金拾錢



商標

吐血咯血下血之良方



藥

一劑二包入
 藥價金貳拾錢

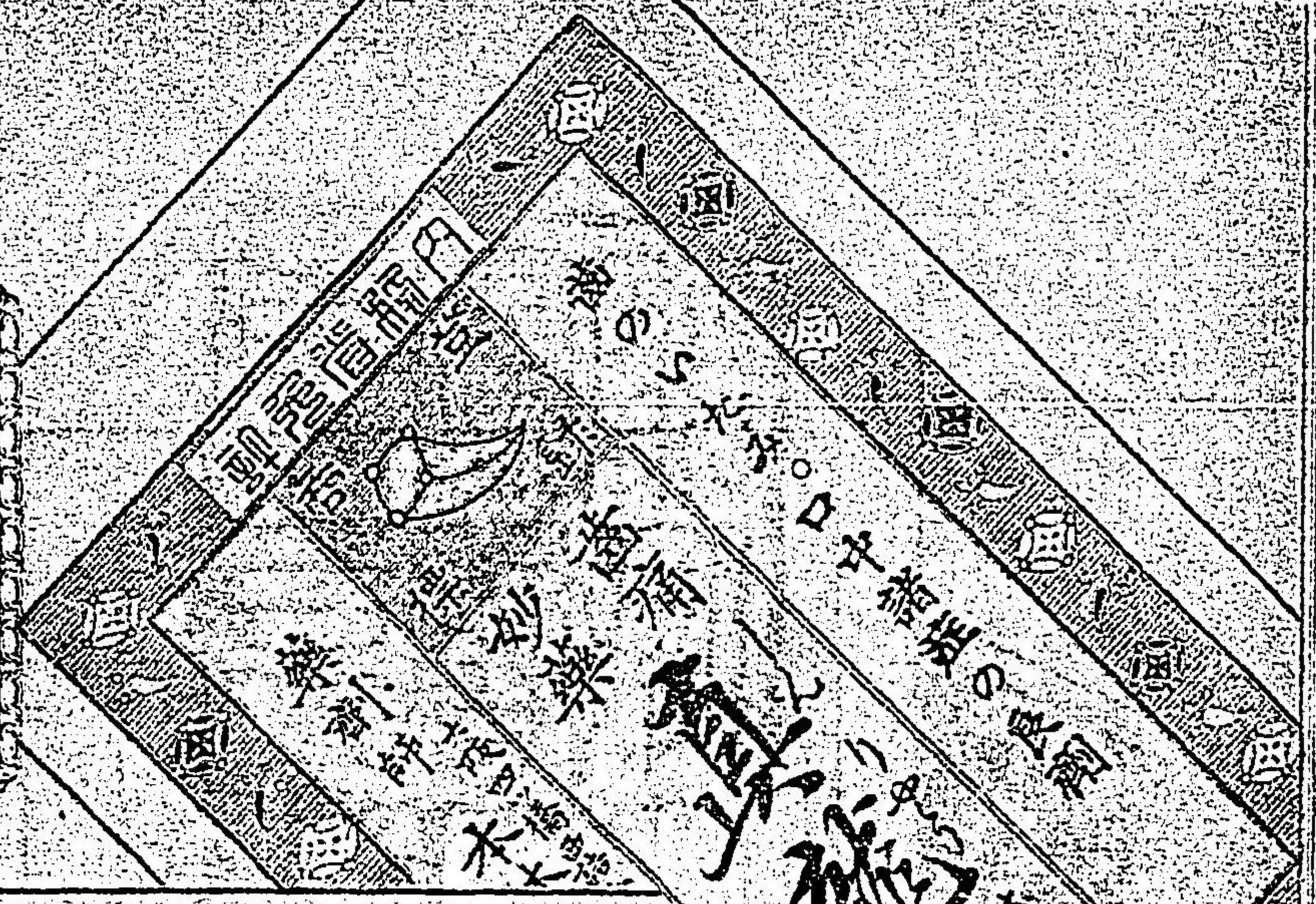
志ん熱おあり風結つもの良劑

解熱
 強壯
キナミン丸

大坂四橋番南二入
 藥劑師 本林平三郎監製

行發堂子丁

藥價
 金三錢
 金五錢



胎毒下
 赤丸

小兒ドクトリ丸

大坂四橋番南二入
 藥劑師 本林平三郎監製

代價
 一包入 金貳錢
 三包入 金五錢
 七包入 金拾錢

行發堂子丁

ドクトリ丸

●効能概略◎微毒、瘡毒(ひるしつ)胎毒、癩病、下疳、便毒、骨痛、くさかゆがり、頭面鼻の發疹、揚梅瘡、るいれき、五痔、せん毒、リウマチス及痛風にて肩四枝關節の痛み逆上つよくして耳鳴耳遠く又は眼かすみ口中たれ咽喉腫瘍等皆確かなる効能あり平素まつけある人は本劑を毎日一包づ、用ひ置けば濕毒を悉く取りひひつゝの根をたち大便の通利を快く皮膚の光澤をよくし逆上をさげ肩の凝をやわらげ精神を爽快に身軀を強壯にまで自から氣を活潑にする特效あり

◎用法服用◎大人は一日に二包十歳以上十五歳迄は一包何れも幾度にも分けて服すべし

小児ドクトリ丸

●主治◎胎毒より發する一切の諸病即ち頭首、顔面、頸圍、軀幹、四枝其他胸部、腋下、下腹、膝、膈、肛門の圍り等の發疹(俗に云ふくさ)又ハ水泡、膿胞潰瘍環を發し痒の強き爲搔き破りて遂に血液を混じたる稀汁を分泌し後岩狀痂を結び耳だれを發し粘液膿液を漏し鼻口の前部たれて厚痂を結ぶ等に効能あり

◎用法服用◎二歳迄は一日に半包四歳迄は一日に一包七歳迄は一日に一包半七歳以上は二包より三包に至る何れも一日三度に分けて湯或ハ水にて又乳兒にハ乳につけて服すもよし

真龍散

●主治及用法◎齒の痛にハ其痛む齒の根へ日に幾度も

附てよし虫齒にハ齒の凹みへ入れ暫時精神を安靜にすれば治す齒ぐさの日に二三回づ、一二週間齒齦へ附れば必ず治す抜齒の痕痛湯水のみゆみ齒のゆるみ口中のたれ舌のあれ口びるのたれ小兒きたく等にハ其部へ附てよま咽喉はれ痛むには管にて吹込むべし又平素毎朝うがひの際少しづ、附て齒を磨けば口熱及口の臭みを去り口中を爽にし齒の根をえめ光澤をよくし老後に至りても口中及齒の患ひなし(此藥は若し内服するも害なし)

キナエン丸

●効能概略◎キナエン丸は間歇熱一名おこりに必用飲ぐべからざる特效藥にして凡て瘴氣中毒に偉効あるのみならず濕氣ある地に於ては豫防藥として用ひて最上の効あり解熱には望扶斯一名傷寒、時疫、リウマチス、痛風、肺炎、助膜炎、産褥熱、感冒、胃熱、心熱、頭痛、創傷熱、破傷風等に効あり健胃強壯藥としては重病後の快復期消化不良貧血性心氣亢進等に用ひて著効あり

◎用法服用◎大人は一度に一包づ、一日に二回五歳以上十五歳迄は一日に一包を二回に分ち用ひ五歳以下は一包を三回に分ち一日に二回何れも水にて服すべし但しおこりにハ其發する五六時間程前に二包を半時間毎に用ひべし

吐血藥

●主治効能◎胃出血(吐血)氣管支出血(咯血)膈出血

(下血)に内服して輕症は一劑重症は三劑にて止血す其他痔血、血腫、血等にて用ひて亦奇効あり
 ●用法服量◎大人は一日に一劑即ち二包十五歳以下は半劑何れも水にて用ふべし下血にはぬる湯にて用ゆる方よし

梅毒トクトリ丸

胎毒トクトリ丸

胎毒トクトリ丸

胎毒トクトリ丸

胎毒トクトリ丸

胎毒トクトリ丸

胎毒トクトリ丸

胎毒トクトリ丸

胎毒トクトリ丸

胎毒トクトリ丸

胎毒トクトリ丸

胎毒トクトリ丸

大阪市四ツ橋西南詰南入

本林丁子堂本店



大阪市四ツ橋東南詰南入

本林丁子堂分店



大阪市備後町渡邊筋角

丁子堂支店松本



脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

脚氣腫痛水腫

浪華

浪華の榮は地史にあらず圖繪にもあらず又浪花名勝の案内記と稱すべき程の完全なるものにもあらず唯來客の遊覽に際し懐にして便に供せらるれば幸ひならんと業務の傍ら之を綴り去なれば脱漏錯誤又なまよとせず乞ふ答むること勿れ

攝津國

東は河内に接し西は播磨に隣り南は和泉に界し北は丹波に東北は

山城に連り西南には大阪灣を擁し地勢稍や平行其丹波山城に接する處には山嶽連亘して自然

の州界をなし國の西部なる武庫八部二郡の中央には摩耶六甲の山脈蜿蜒東西に奔りて其南西

ノ宮御影神戸兵庫等僅かに一帯の平地を餘す國中河川の重なるものは淀川大和川神崎川武

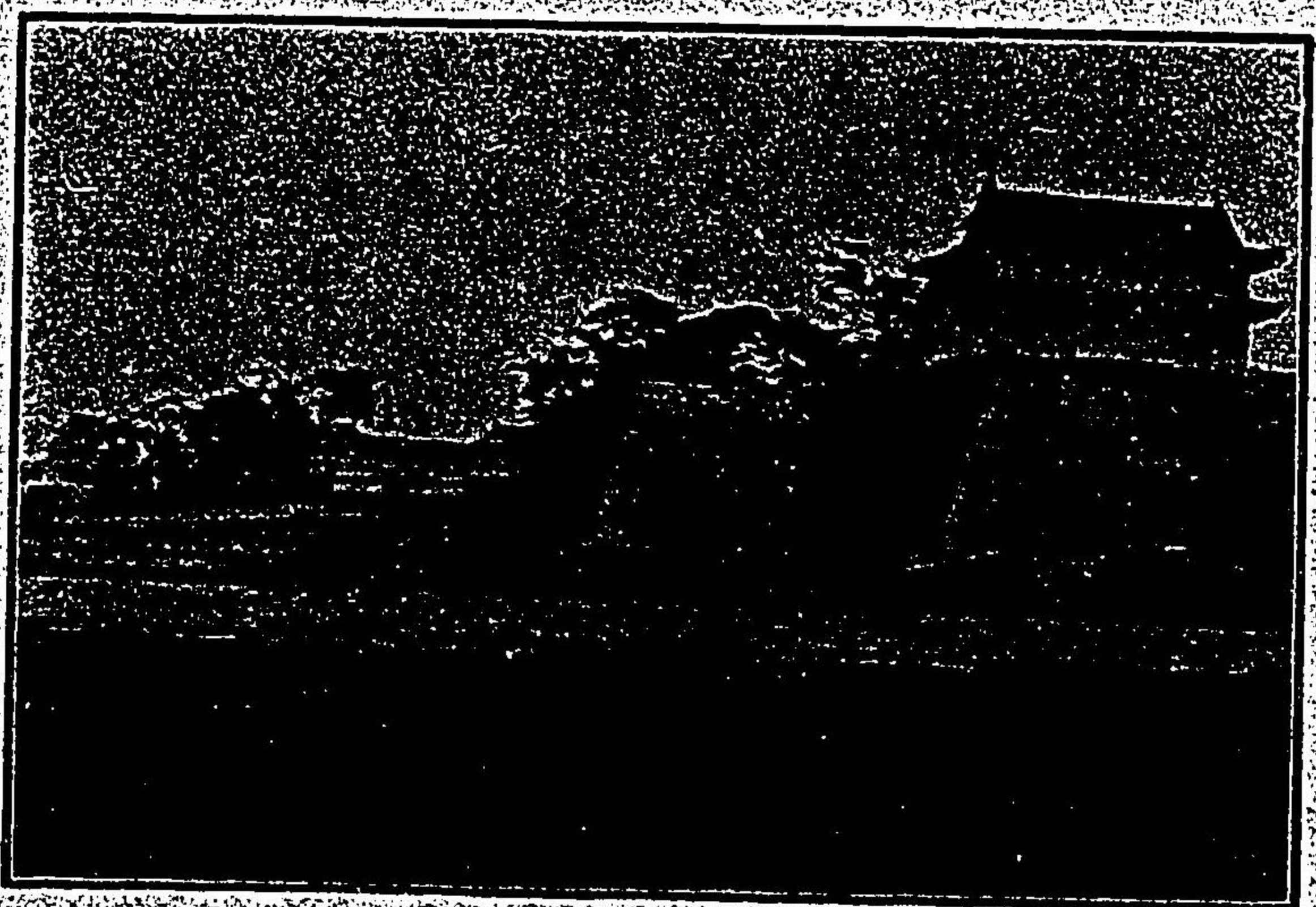
庫川淡川等にして淀川は其下流岐れて三となり一を安治川一を神崎川一を中津川とす所表東

西凡十二里南北凡九里戸數二十萬五千有余人口九十七萬風俗稍や華奢に流ると雖も商業に

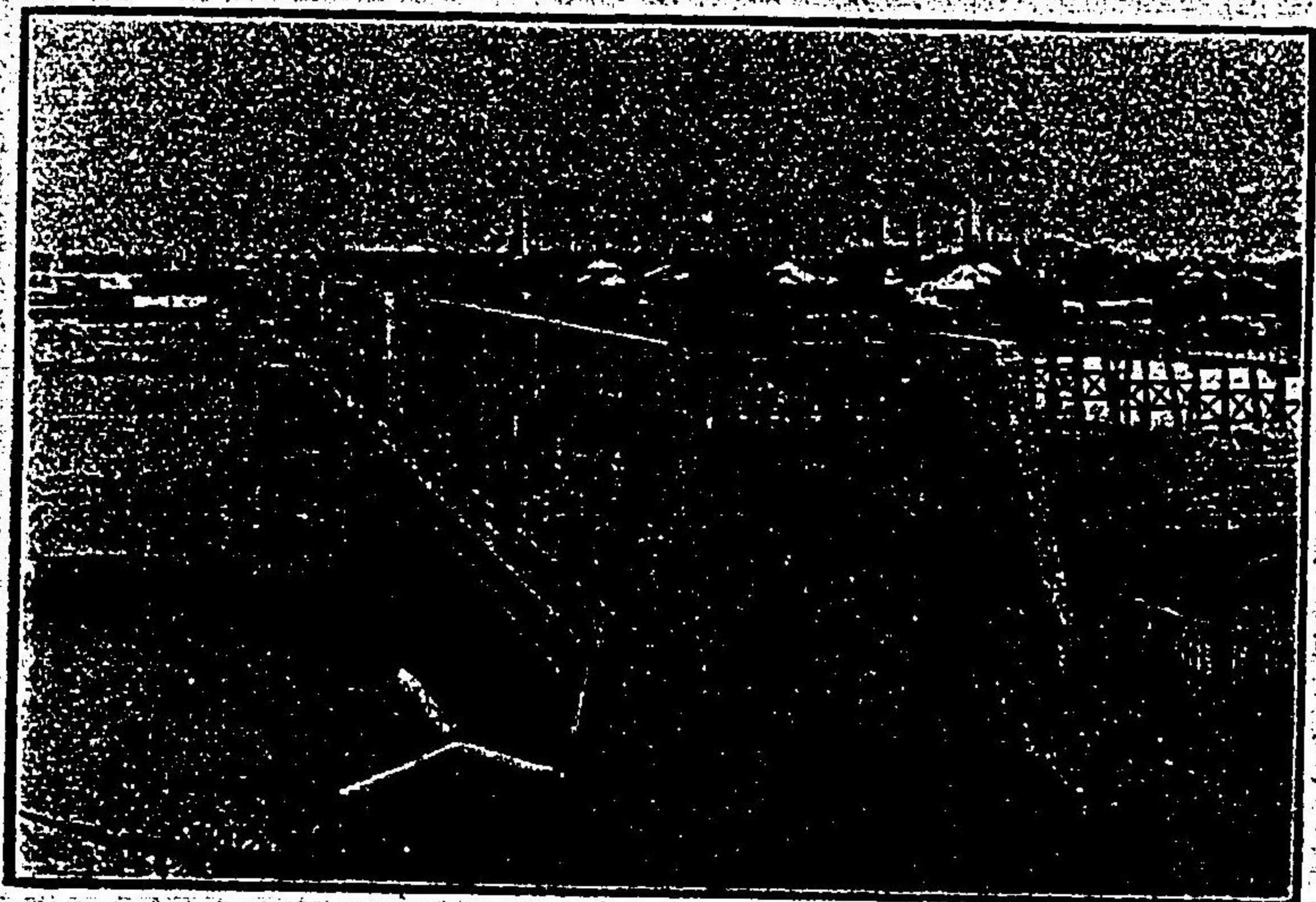
對しては頗る機敏の風あり抑々攝津國は古浪速國と稱し 仁徳天皇の高津に都去給ふや專

ら宮室を卑ふして人民を撫育し竈煙日に熾んに民聖徳の高さを仰ぐ 孝徳天皇宮を豊崎に移
 じ 天武天皇六年攝津職を設け延暦年間更に國司に改めて府を西成郡に置く 後醍醐天皇の
 御宇楠正成河内より出で 天皇を守護して足利尊氏と豊島に戦ひ後尊氏再襲して正成は湊
 川に戦死す尊氏乃ち赤松範資をして州 疆を侵畧せまめ後佐々木秀詮を守護とま應安年間細
 川頼之之れに代り終に其管國となる其末孫細川澄之同族高國と戦ひ池田伊丹の諸族之れに雷
 同して全國爲に分裂す澄之歿するに及んで高國終に當國を侵畧し尼ヶ崎城に居る天文年間三
 好長慶一國を奪ひ後永祿年間織田信長來りて長慶寺を敗り地を分ちて伊丹親興池田勝政和田
 惟政に與ふ豊臣秀吉天下を定むるに及び大阪に城きて之れに居る今の大阪城是なり其子秀頼
 際を徳川と生じ大に戦ひ秀頼終に亡ぶ徳川乃ち故城を修築して松平忠明を封じ元和八年内藤
 信政を以て初めて城代とす

王政革新の時府を大阪に置き一國の半を割て兵庫縣の管轄とす是れ攝津國が沿革の概畧なり



大 阪 城



天 満 橋

大阪市

は國の南部大阪灣頭に位し東南北の三方は遠く平野と連なり南西

一面は遙かに海を受く古は難波津或は浪花瀆と稱し又大江の阪と号せしを後世約して大阪と云ふと曰ふ

即ち大阪府廳の所在地にして東西一里十四丁南北二里十二丁是を東西南北の四區に分ち戶數十一萬余人口五十萬街衢井然として豪家軒を列べ西部安治川の海に瀆ぐ處を大阪港とす港口淀川の砂泥流下して僅に數匁巨舶を容るゝに便ならずと雖も商船常に輻輳して俗に入舟出舟千艘の稱あり全市一ヶ年の取引高は三府の首位を占め全國物價の變動大阪の商況如何に由るもの多く實に我國第一の商業地なり

天正年間豊臣秀吉大阪城を築き此地を以て施政の中心とせまより以來諸國の大名參勤交代法商賈又先を争ふて茲に集まり百貨輻輳往來頻繁遂に今日の隆盛を見るに至る舟楫に便する爲豊臣氏城に移るの后に開鑿せし河渠は南北に流るゝものを東横堀、西横堀、東西に流るゝを堂

島川、土佐堀、江戸堀、京町堀、阿波堀、薩摩堀、立賣堀、長堀、堀江、道頓堀と云ひ橋梁の多き俗に八百八橋と稱す其著名なるものを揚ぐれば凡左の如し

- ▲大川 天満橋◎天神橋◎難波橋 ▲堂島川 大江橋◎渡邊橋◎田箕橋◎玉江橋◎堂島大橋◎船津橋 ▲土佐堀 淀屋橋◎肥後橋◎筑前橋◎常安橋◎越中橋◎湊橋 ▲東横堀 今橋◎高麗橋◎平野橋◎思案橋◎本町橋◎農人橋◎久寶寺橋◎安堂寺橋◎末吉橋◎九之助橋◎瓦屋橋◎上大和橋 ▲西横堀 西國橋◎船町橋◎尼ヶ崎橋◎筋違橋◎吳服橋◎京町橋◎新天満橋◎相生橋◎敷津橋◎信濃橋◎江達橋◎新渡邊橋◎助右衛門橋◎新町橋◎上繫橋下繫橋此二橋は四ッ橋の其二なり◎御池橋◎清水橋◎木綿屋橋◎金屋橋 ▲長堀 安綿橋◎板屋橋◎長堀橋◎中橋◎三休橋◎心齋橋◎佐野屋橋◎炭屋橋吉野屋橋此二橋は四ッ橋の其二なり◎宇和島橋◎富田屋橋◎問屋橋◎白髪橋◎鯉座橋◎玉造橋◎高橋 ▲道頓堀 下大和橋◎日本橋◎相合橋◎太左衛門橋◎戎橋◎新戎橋◎大黒橋◎住吉橋◎幸橋◎汐見橋◎日吉橋 ▲堀江川 堀江橋◎隆平橋◎賑江橋◎高臺橋◎阪榮橋◎瓶橋◎鐵橋◎水分橋 ▲立賣堀 新一橋◎立賣橋◎明治橋◎阿波橋◎中橋◎穴喰屋橋◎西二橋◎高橋 ▲江戸堀 撞木橋◎犬齋橋◎阿波殿

- 橋◎大目橋◎江戸堀橋◎西北橋◎崎吉橋 ▲京町堀 東上橋◎新中橋◎羽子板橋◎祀ノ國橋◎新難波橋◎千秋橋◎兩國橋◎茂左衛門橋 ▲木津川 端建藏橋◎新橋◎大沙橋◎松島橋◎千代崎橋 ▲古川 國津橋◎古川橋◎中津橋◎東境橋◎西境橋◎親和橋 ▲安治川 安治川橋◎東蘆分橋◎西蘆分橋◎其他海部堀、阿波堀、薩摩堀、百間堀、尻無川、寝屋川、鯉江川、堀川、堀川、高津入堀、難波入堀等に架する枚舉に遑わらず大阪府全般の橋梁の數實に一萬〇八百二十余ヶ所なり

東海鐵道の大阪停車場は西成郡曾根崎村字梅田に在り西は神戸（大阪梅田ヨリ神戸三ノ宮迄鐵道里程十九哩二十四鎖）を経て山陽鐵道に連絡し東は京都（梅田ヨリ京都七條迄二十六哩六十四鎖）名古屋、濱松、静岡、横濱等を経て東京（梅田ヨリ東京新橋迄三百五十六哩四鎖）へ達す大阪鐵道の停車場は湊町にあり線路は大和國王寺村に到り分岐して一は櫻井町に達し一は奈良町（湊町ヨリ奈良迄二十九哩四十六鎖）に到る阪堺鐵道の停車場は南區難波新地に在りて住吉を経て堺市（難波ヨリ堺迄六哩十二鎖）に達す川口よりは各埠船會社の船舶日々九州四國中

國等の諸港へ向け解纜するあり或は入港するあり商業地の要港又盛かんなる哉目下設計中の
大阪築港成るの曉は一層の隆盛快絶快絶

第四師團本部は 大阪舊城内に

造幣局は 北區川崎町に

大阪府廳 警察本部 府會議事堂 市會議事堂等は 西區江之子島に

大阪控訴院 地方裁判所は 北區若松町に

區裁判所は 西區土佐堀に

大阪郵便電信局は 北區中之島二丁目に

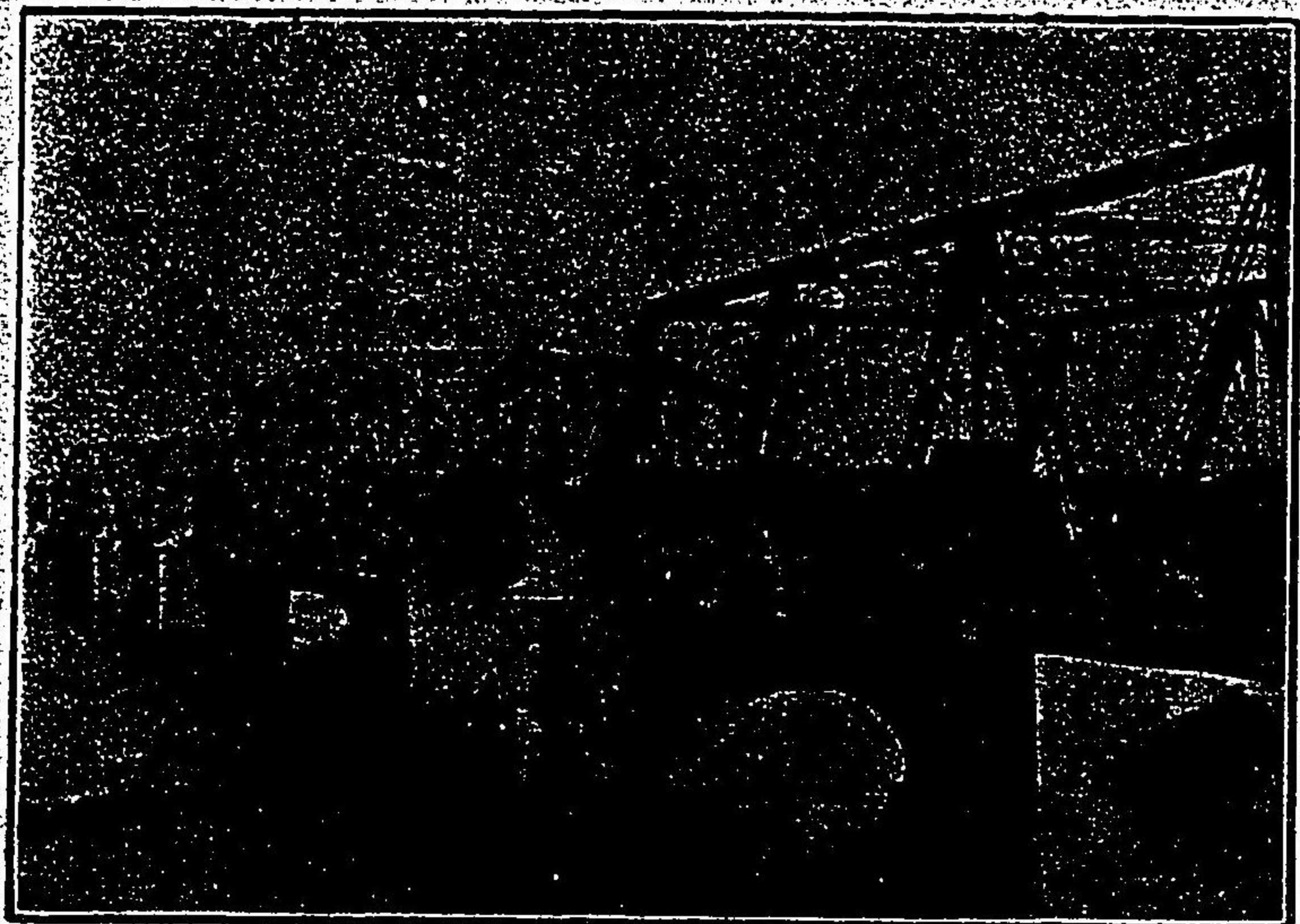
水上警察署は 北區安治川上通二丁目に

大阪憲兵隊本部は 南區順慶町三丁目に

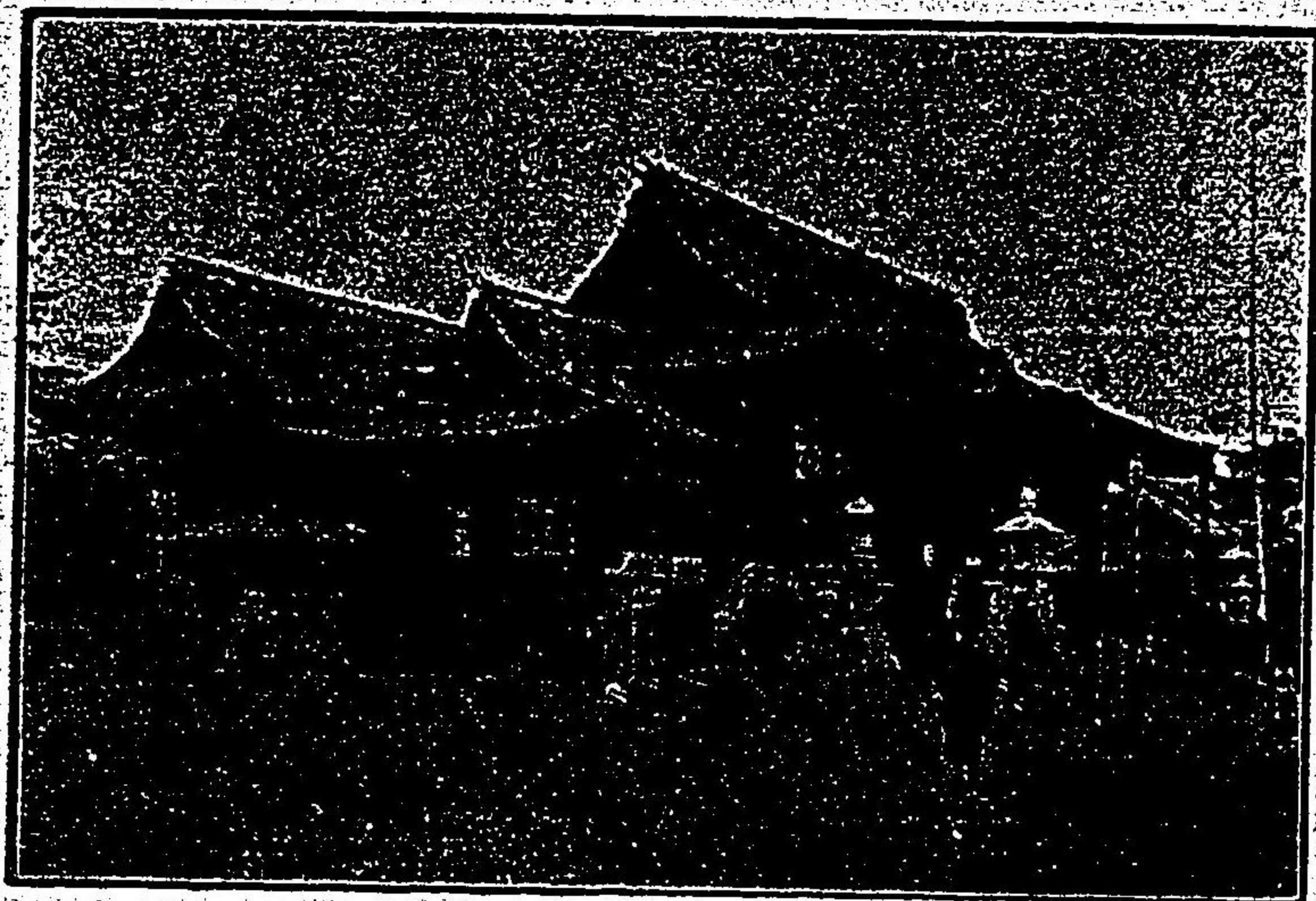
直間税署は 北區中之島四丁目に

大阪税關 大阪司檢所は 北區富島町に

大阪電話交換局は 東區北久寶寺町二丁目に



橋 神 天



社 神 天 滿 天

大阪測候所 大阪商業會議所 商品陳列所等は 北區堂島濱通二丁目に
内務省大阪衛生試験所は 北區中之島一丁目に
共立藥學校は 北區今井町に
賣藥卸賣株式會社は 東區道修町三丁目に
外國人居留地は府廳と對岸の地に在り

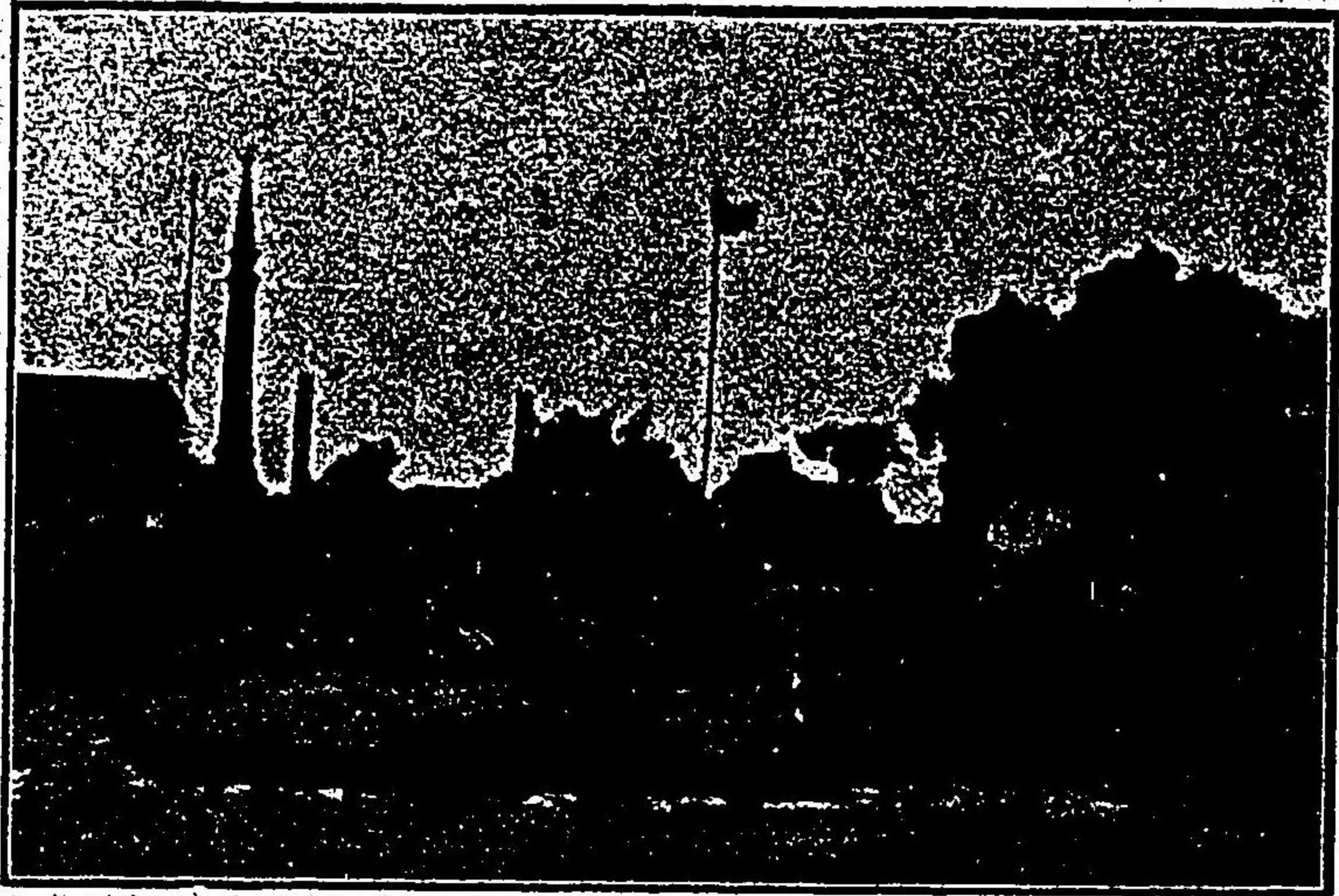
大阪市北區名稱

▲東區 法圓阪町 ●廣小路町 ●上本町 ●龍造寺町 ●拾貳軒町 ●神崎町 ●粉川町 ●
住吉町 ●材木町 ●内久寶寺町一、二、三、四丁目 ●和泉町一、二丁目 ●南農人町一、二丁目
●農人橋一、二丁目 ●農人橋詰町 ●兩替町一、二丁目 ●常盤町一、二丁目 ●繪屋町一、二丁目
●内本町一、二丁目 ●内本町橋詰町 ●徳井町一、二丁目 ●南新町一、二丁目 ●北新町一、二
丁目 ●糸屋町一、二丁目 ●大手通一、二丁目 ●内淡路町一、二丁目 ●内平野町一、二丁目
●船越町一、二丁目 ●釣鐘町一、二丁目 ●島町一、二丁目 ●石町一、二丁目 ●京橋一、二、三
丁目 ●高麗橋詰町 ●豐後町 ●谷町一、二、三、四、五丁目 ●京橋前之町 ●杉山町 ●大手前

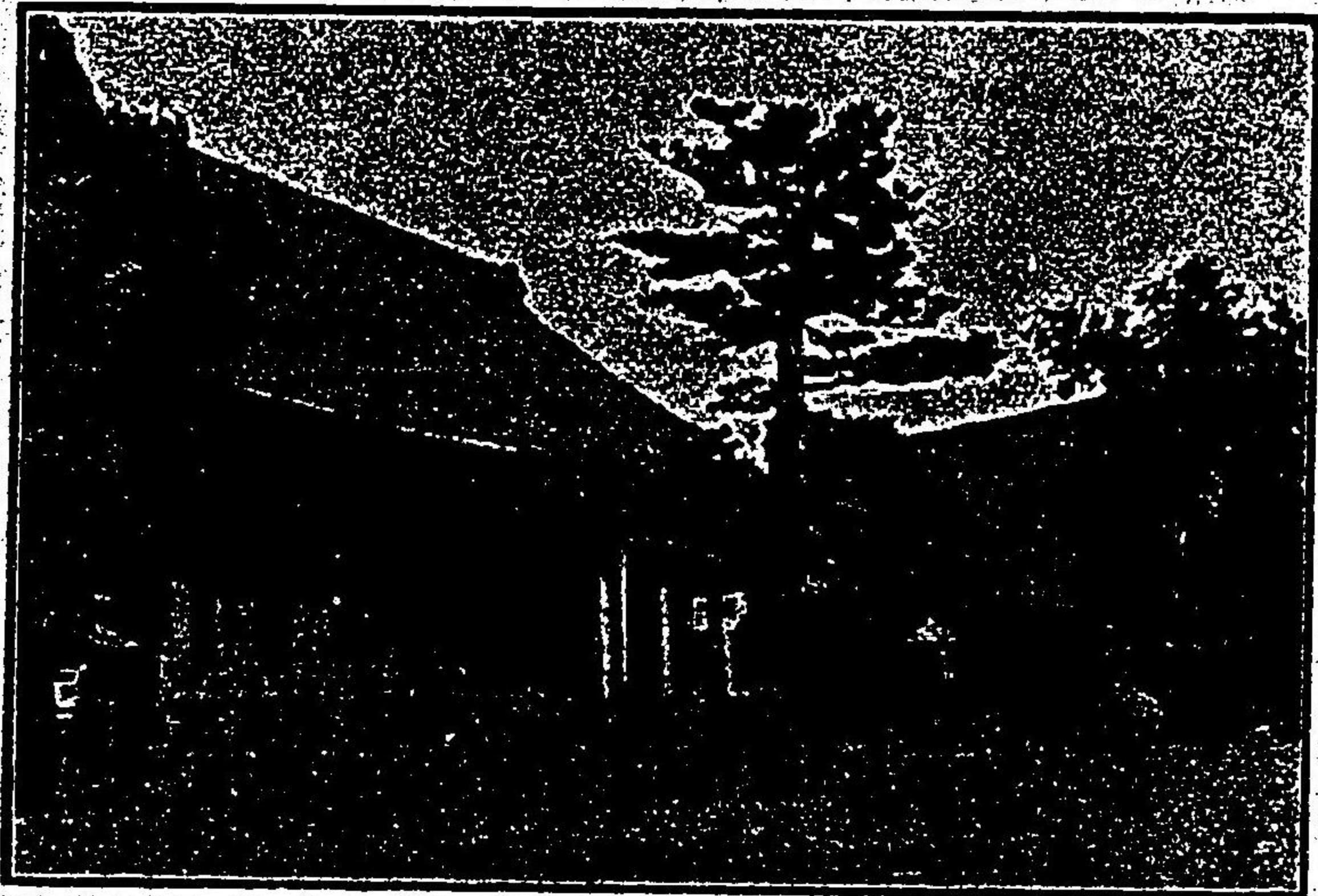
之町 ●馬場町 ●北濱一、二、三、四、五丁目 ●大川町 ●今橋一、二、三、四、五丁目 ●高麗橋
 一、二、三、四、五丁目 ●伏見町一、二、三、四、五丁目 ●道修町一、二、三、四、五丁目 ●平野町
 一、二、三、四、五丁目 ●淡路町一、二、三、四、五丁目 ●瓦町一、二、三、四、五丁目 ●備後町一、
 二、三、四、五丁目 ●安土町一、二、三、四丁目 ●本町一、二、三、四丁目 ●南本町一、二、三、四
 丁目 ●唐物町一、二、三、四丁目 ●北久太郎町一、二、三、四丁目 ●南久太郎町一、二、三、四丁
 目 ●北久寶寺町一、二、三、四丁目 ●南久寶寺町一、二、三、四丁目 ●博勞町一、二、三、四丁目
 ●北渡邊町 ●南渡邊町 ●上難波南之町 ●横堀一、二、三、四、五、六丁目 (ノ百五十七ヶ町)
 ▲西區 土佐堀一、二、三、四、五丁目 ●土佐堀裏町 ●江戸堀上通一、二丁目 ●江戸堀北通一
 二、三、四、五丁目 ●江戸堀南通一、二、三、四、五丁目 ●江戸堀下通一、二、三、四、五丁目 ●京
 町堀上通一、二、三、四、五丁目 ●京町堀通一、二、三、四、五丁目 ●鞆北通一、二、三、四丁目 ●
 鞆上通一、二、三丁目 ●鞆中通一、二、三丁目 ●鞆下通一、二丁目 ●鞆南通一、二、三、四、五丁
 目 ●阿波堀通一、二、三、四、五丁目 ●阿波堀裏町 ●阿波座上通一、二、三丁目 ●阿波座中通
 一、二丁目 ●阿波座下通一、二丁目 ●阿波座一番、二番、三番、四番町 ●立賣堀北通一、二、三
 四、五、六丁目 ●立賣堀裏町 ●薩摩堀東町 ●全西町 ●全南町 ●全北町 ●全裏町 ●江ノ

子島上町 ●全東町 ●全西町 ●立賣堀南通一、二、三、四、五、六丁目 ●新町北通一、二丁目
 ●新町通一、二、三、四、五丁目 ●新町南通一、二、三、四、五丁目 ●裏新町 ●西長堀北通一、二
 三、四、五丁目 ●西長堀南通一、二、三、四、五丁目 ●北堀江上通一、二、三丁目 ●北堀江裏通
 一、二丁目 ●北堀江下通一、二、三、四、五、六丁目 ●北堀江通一、二、三、四、五、六丁目 ●北堀
 江一番、二番、三番町 ●南堀江通一、二、三、四、五、六丁目 ●南堀江上通一、二、三、四、五丁目
 ●南堀江下通一、二、三、四丁目 ●南堀江一番、二番、三番町 ●西道頓堀通一、二、三、四、
 五、六丁目 ●幸町通一、二、三、四、五丁目 ●松島町一、二丁目 ●仲之町一、二丁目 ●高砂町
 一、二丁目 ●十返町 ●花園町 ●本田一番、二番、三番町 ●本田通一、二、三丁目 ●梅本町
 (ノ百七十五ヶ町)

▲南區 空堀町 ●上本町筋一、二、三丁目 ●内安堂寺橋通一、二、三丁目 ●松屋町 ●南桃
 谷町 ●北桃谷町 ●東新瓦屋町 ●西新瓦屋町 ●谷町筋六、七丁目 ●田島町 ●瓦屋町一番
 二番、三番、四番、五番町 ●順慶町通一、二、三、四丁目 ●安堂寺橋通一、二、三、四丁目 ●盤
 町通一、二、三、四丁目 ●末吉橋通一、二、三、四丁目 ●横堀七丁目 ●鰻谷東之町 ●全中之町
 ●全西之町 ●大寶寺町東之町 ●全中之町 ●全西之町 ●東新水町 ●西新水町 ●大和町



明治紀念碑及中之島公園

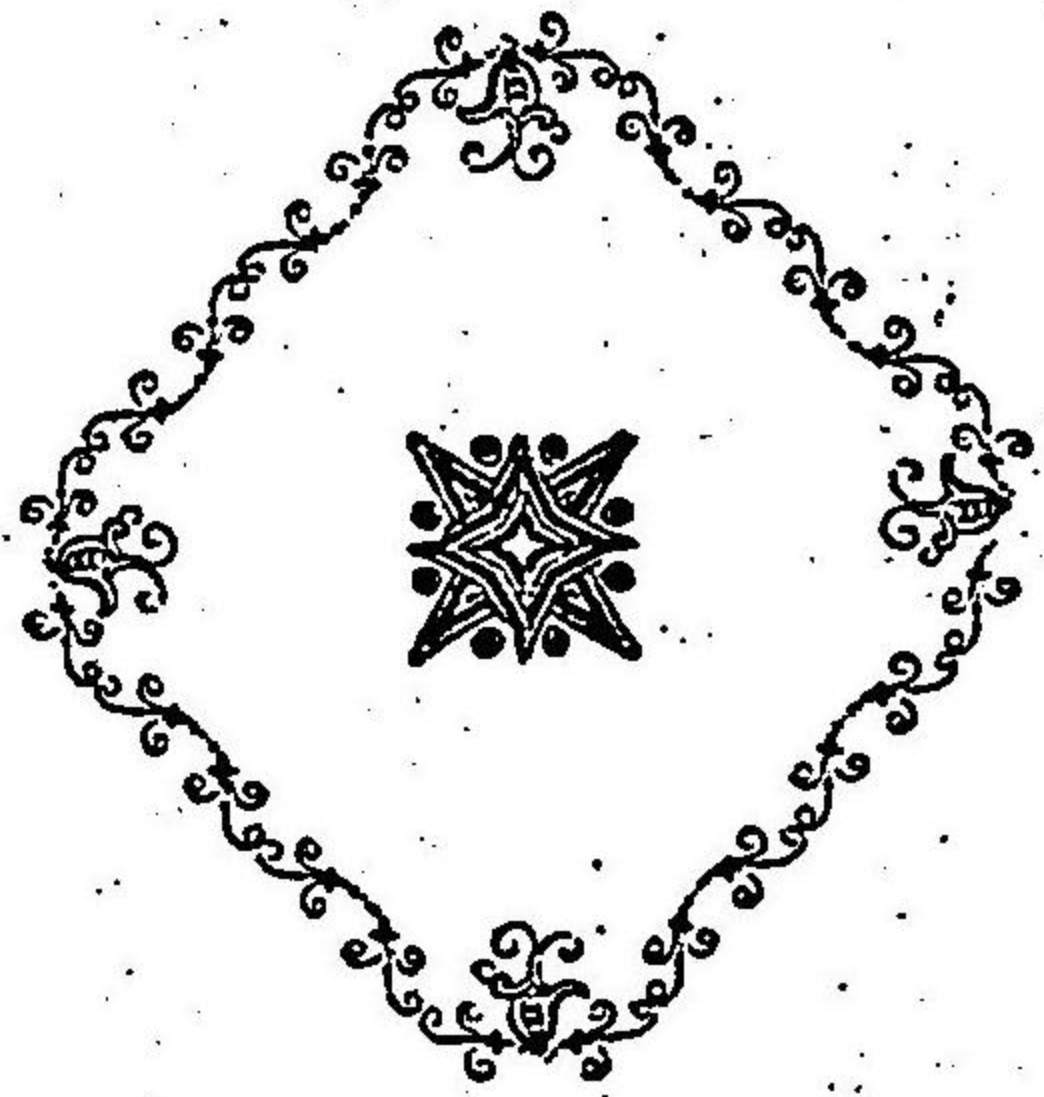


北ノ御堂

(此處係子丁) (別印本繪本)

- 問屋町 ● 南綿屋町 ● 竹屋町 ● 鍛冶屋町 ● 長堀橋筋一、二丁目 ● 千年町 ● 玉屋町 ● 疊屋町
- 笠屋町 ● 宗右衛門町 ● 心齋橋筋一、二丁目 ● 南炭屋町 ● 北炭屋町 ● 周防町 ● 八幡町 ●
- 久左衛門町 ● 三津寺町 ● 二ツ井戸町 ● 高津一番、二番、三番、四番、五番、六番、七番、八番、
- 九番、十番町 ● 御藏跡町 ● 日本橋筋一、二、三、四、五丁目 ● 阪町 ● 東橋町 ● 西橋町 ● 九郎
- 右衛門町 ● 湊町 ● 難波新地一番、二番、三番、四番、五番、六番町 (ノ九十二ヶ町)
- ▲北區 野田町 ● 相生町 ● 網島町 ● 川崎町 ● 新川崎町 ● 日屋町 ● 今井町 ● 天満橋
- 一、二、三、四丁目 ● 空心町一、二丁目 ● 金屋町一、二丁目 ● 朝日町 ● 信保町一、二丁目 ●
- 岩井町一、二丁目 ● 龍田町 ● 壺屋町一、二丁目 ● 河内町一、二丁目 ● 瀧川町 ● 松ヶ枝町
- 此花町一、二丁目 ● 市之町 ● 天神筋町 ● 大工町 ● 紅梅町 ● 天神橋筋一、二、三、四丁目
- 菅原町 ● 鴨尾町 ● 樽屋町 ● 地下町 ● 東堀川町 ● 旅籠町 ● 南森町 ● 北森町 ● 綿屋町
- 末廣町 ● 樋上町 ● 若松町 ● 絹笠町 ● 真砂町 ● 老松町一、二、三丁目 ● 源藏町 ● 西堀
- 川町 ● 伊勢町 ● 富田町 ● 木幡町 ● 堂島濱通一、二、三、四丁目 ● 堂島中一、二丁目 ● 堂島
- 船大工町 ● 堂島北町 ● 堂島裏一、二、三丁目 ● 曾根崎新地一、二、三丁目 ● 中之島一、二、三
- 四、五、六、七丁目 ● 宗是町 ● 常安町 ● 玉江町一、二丁目 ● 安治川通上一、二丁目 ● 安治川

通光二、三丁目 ●安治川通南一、二、三丁目 ●富島町 ●古川町 (八九十四ヶ町)



高麗橋

東横橋川に架し西畔を高麗橋筋一丁目と云ひ東畔を高麗橋詰町と云ふ往昔高麗人入朝の際此橋を通行す以來其名を附せりと云ふ本橋は管内里程の起點にして橋詰に元標あり橋の長さ三十九間幅四間明治三年九月の改築にして大阪市中鐵橋の嚆矢なり

四ツ橋

長堀と西横堀と交叉して十字形をなす處四個の橋梁を架す形は井字の如し所謂四ツ橋是なり東を炭屋橋西を吉野屋橋南を下繫橋北を上繫橋と稱す橋は木造長さ各二十間普通の構造なれども四橋井然相集まり奇觀を呈す來山の句に「涼しさに四ツ橋を四ツ渡りけり」橋の西南吉野屋橋の南詰南へ入る處に藥店あり之れ即ち梅毒藥を以て全國に雷名を博したるドクトリ丸の本舖本林丁子堂本店なり橋の東南炭屋橋の南詰に同支店あり本林丁子堂分店と稱し從來各家の製造に係る有効著名なる賣藥及び藥種麝香化粧用品香水内外國製造の各種の石鹼、齒磨等を販賣し業務の勉強と取引の懇篤なるに因り頗る顧客の信用を得商業日々旺盛を極む

寶とも見上て渡る四ツ橋の

桐丸

四方に蕪りの高い丁子堂

大阪城

市の東部に在り一に錦城と稱し天正十一年豊臣秀吉の築く所城の周圍一里余追手京橋青野玉造の四門を開き其石材の如きは諸侯の寄附するものにして悉く寄附者の定紋を彫刻しあり今猶長さ數十間の巨石を石壘の中に觀る城中金銀の二井及算盤橋と稱するあり元和元年豊臣氏亡び後徳川氏之を修築して松平忠明に賜ひ元和八年内藤氏を以て城代とす其當時城内の壯麗全國の第一位を占め就中天守閣の如きは高さ廿五間屹然として雲表へ聳へたりしが寛文五年正月二日雷火の爲に焼失し慶應四年城中又兵火に罹り且多くの建物を毀らたるも石壘高くして渠深く人をして其壯大に驚かしむ目今第四師團の本營にして城の一隅に砲兵工廠あり

天滿橋

東區京橋二丁目より北區天滿橋筋に架設する鐵橋にして大阪第

二の橋長三大橋の一なり長さ百十八間幅六間明治廿一年十二月の建造にして橋の中央に備前島と稱するあり之を東に趣けば網島及櫻の宮に至る東南には大阪城を近く樹林の間に觀西には天神、浪花の二橋を望み風景佳なり

天神橋

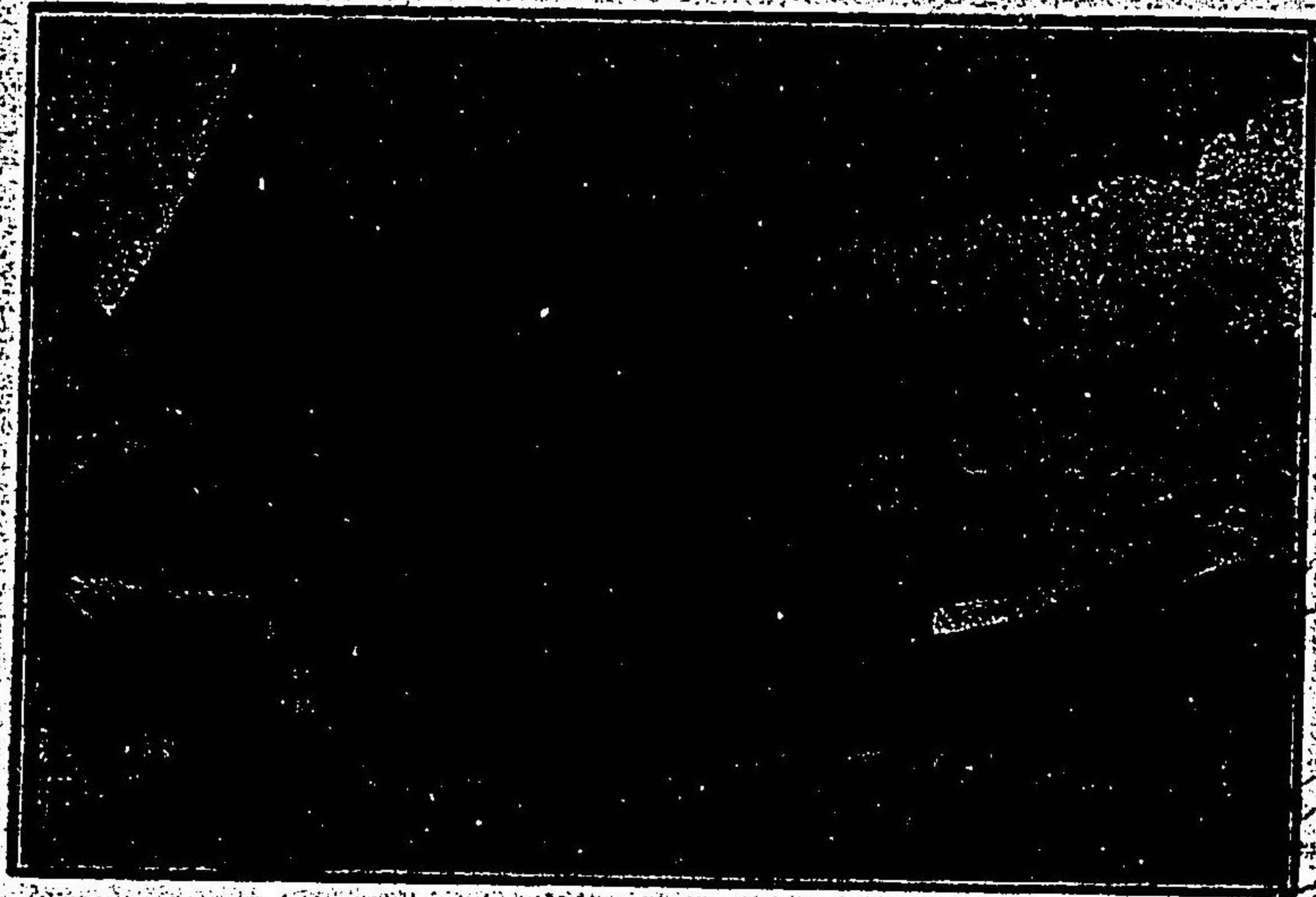
天滿橋の西に架する大阪第一の長橋にして三大橋の一なり長さ百三十一間幅員六間皆鐵桁鉄柱を用ゐ構造頗る堅牢なり架設の年月は天滿橋と同時にして橋の北詰に青物の市場あり天滿市場と稱す毎朝市を開き非常に喧噪を極めり

天滿天神社

天神橋の北にあり府社にして菅原道實公を祭る昔時天神山に發みまが寛文年間今の處に移す境内宏寛社殿宏壯賽人常に絶ゆることなし祭禮の毎年七月二十五日にして神輿は舟にて大川を下り松島の旅所に渡御す此時河中到る處に大ひなる篝火を焚き送迎の船は水上に充滿し其壯麗及賑は實に他に見ざる處なり

浪花橋

天神橋の西にある鐵橋にして大阪三大橋の一なり長さ百十四間幅



堂御ノ南



寺光和池院彌阿

四間半橋の中央は中之島にして其南流を土佐堀と稱し北流を堂島川とす此浪花橋より天神橋の間は彼の有名なる大阪納涼の勝區なり夏期に至れば通ひ船屋形船等水上に充滿して舳舳相啣み絃歌の聲沸くが如く此地の一奇觀とす

中之島公園 中之島の東端浪花橋より淀屋橋の間を稱す園中樹木多く東へ大阪城並に三大橋を望みて頗る風致あり

豊國神社 中之島公園の中央にあり別格官幣社にして豊臣秀吉公の靈を祭る明治十三年の建築にして構造清酒自から神威の高さを示す

明治記念碑 中之島公園豊國神社の背後にあり西南の役の戦死者を吊するが爲建設せるものにして毎年五月七日碑前に於て招魂祭を執行す

御霊神社 平野町御霊筋に鎮座し天正年間の創建と云ふ祭神は天照皇太神宮にして別に鎌倉權五郎の靈を祭る境内に神輿庫、蛭子祠、人丸社、住吉社、神樂殿等あり又中古人

形芝居淨瑠璃の元祖なる文樂座も此内にあり

津村別院

東區本町筋より備後町に亘る大剝にして俗に北の御堂と稱す本派
本願寺の掛所なり表門は東に面し正面に本堂あり堂廣潤棟高くして構造宏壯堂中安阿彌作の
阿彌陀佛を安し聖徳太子及び親鸞上人の二像を置く本堂の北に對面所あり長廊を架して往來
の便に供す其他鐘樓、鼓樓、轉輪藏等境内にあり周圍は石垣を以て築き外に小濠を境らま殆ど
城廓の觀あり當師團の所管たる捕虜清兵の第一留置所を此境内に設けらる

難波別院

南の御堂と稱し北御堂の南東區南久太郎町より北久太郎町に跨る
大谷派本願寺の別院なり東本願寺十二代の門主教如上人徳川將軍より寺地を賜りて當寺を
建立し慶長の末今の地に移す其規模の宏大なる北御堂に譲らず東門を四足門と云ひ石壁之れ
に連りて寺域を圍み正面に本堂あり本尊は安阿彌作の阿彌陀佛にして又親鸞上人の像を安す
南に長廊を架して對面所あり東北の隅に鼓樓ありて石垣の上に高く聳ゆ此境内に又當師團所

管の捕虜清兵第二留 所を置かる

度摩神社

府社にして南御堂の背後に在り生井神、福井神、網長井神、阿須波神
波比岐神を合祀す別に八幡宮、靈符神、多賀祠、稻荷社等の末社及神樂殿あり神功皇后三韓より
凱陣の後御船を浪速の岸浮見石のほとりに寄せ神璽を鎮めて齋ひ給ひま處を浪速沼と稱す應
仁天皇の三年其舊地を下まて社殿を創立せられまが天正年間今の地に移すと云ふ

難波神社

本社は仁徳天皇を祀り拜殿の額に浪速神社と表し 有栖川熾仁親
王殿下の御筆なり社記に云ふ 反正天皇の元年勅に依りて大江の阪平野郷に創建せまが後天
正年間今の地に遷すと 古は社殿頗る壯嚴を極めたりしが屢々火災に罹り今の本社は明治廿
二年の新築たり本社傍らに博勞神祠ありて倉稻御魂を祀る故に本社をも併せて博勞町の稻
荷と稱す

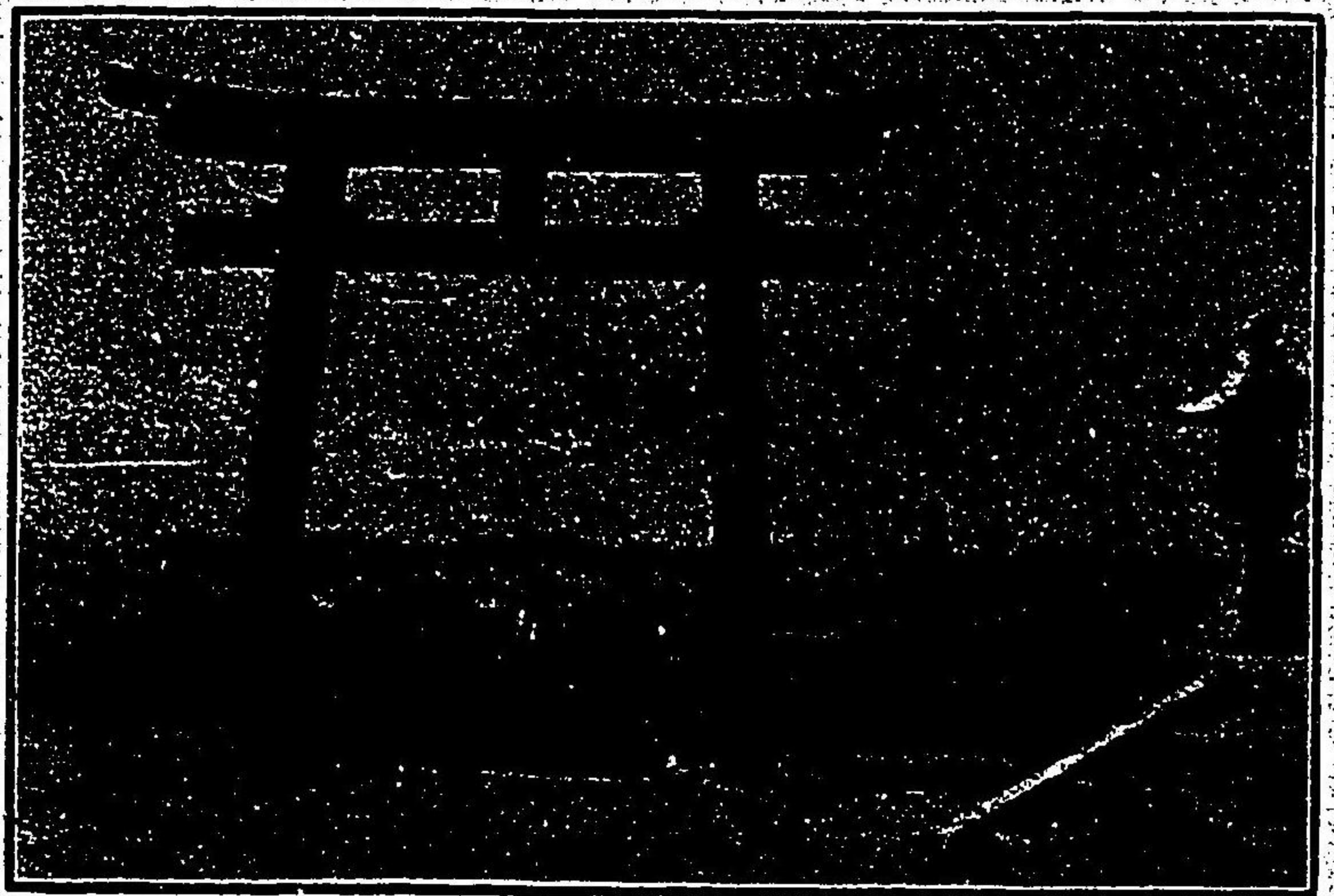
新町遊廓

西區新町通、新町南通、全北通等の総稱にして妓樓茶亭軒を列ね茲

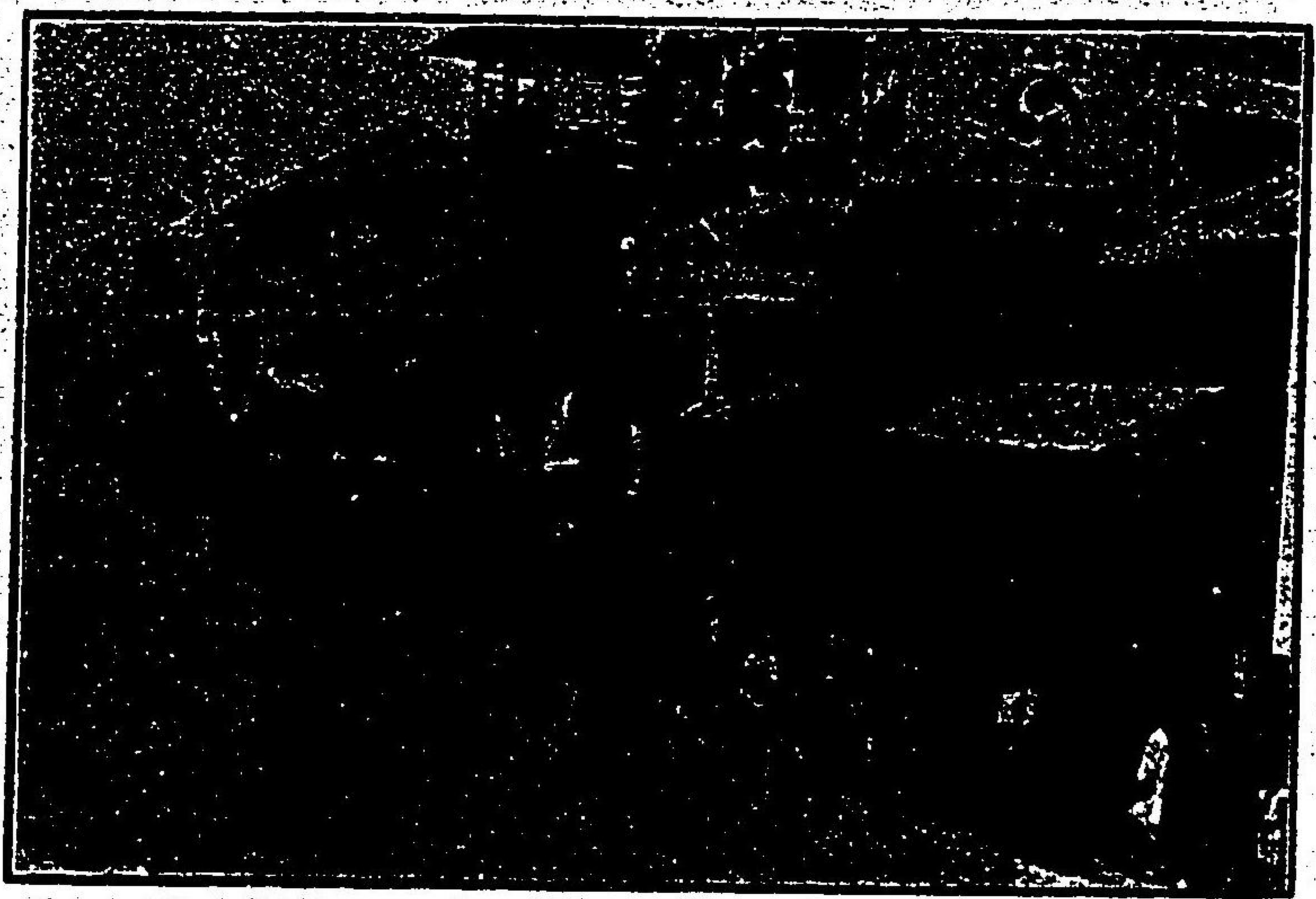
歌の聲絶ゆることなし往昔此地は一面の海濱なり去が寛永年間新たに拓きて町となし茲に遊女屋を集む即ち新開の地なるを以て新町と稱す其當時伏見の浪士木村又左衛門なる者廓の長を勤め常に瓢箪の馬印を用ゐるより今に至るまで瓢箪町の異名を附せり廓の西北部に九軒と云ふ處あり名岐夕霧を以て知らる、大樓吉田屋今猶同所に在りて同妓が遺物を存すと路傍の小堤に櫻樹を栽へ春來れば爛熳たる櫻花解語の花と競ひ亦情あるに似たり堤の西に加賀の手代が句を碑に載せて建つ曰く「たまたまされて來てまことなり初櫻」又東に芭蕉翁の句あり「春の夜は櫻に明てままひけり」

和光寺

西區北堀江下通に在り蓮池山と号し智善院と稱す世俗阿彌陀池と云ふ本尊は伊豆の淨蓮上人佛告を得て自ら鑄造せし金銅の阿彌陀佛なり本堂の東北に稻荷社金比羅社在り觀音堂、まらみ地藏堂、大悲閣大師堂、船魔堂、行者堂等皆寺内にあり又境内の池を阿彌陀池と云ひ池中寶塔を建て放光閣と稱す閣中阿彌陀三尊を安置せり 推古天皇の御宇



高津神社



道頓堀劇場前

信濃國の住人本田善光なる者偶々堀江の岸を過ぎ江中より閻魔檀金の阿彌陀佛を得今の阿彌陀池は其舊跡なりと善光彷彿生國に歸り之を芋井の里に安す今の善光寺是なり元祿十一年智善上人其舊地を下し寺堂を建て和光寺とす

土佐稻荷社

西區北堀江裏通り土佐邸内にあり倉稻魂命を祀る社殿清潔境内末社多く社務所神樂殿あり毎年七月十一、十二日祭禮を執行し枕太鼓を出す近年社内に櫻樹を栽へ盛花の頃又趣きあり

心齋橋

四ツ橋の東一丁余長堀に架する鉄橋なり南北一條の街を心齋橋筋と云ひ市中最も毀賑を極め百貨一として辨せざるなき

御津八幡宮

心齋橋の西南數丁八幡筋にあり 應神天皇を祀る 仁徳天皇此地に都を給る頃味原の郷に在り之を後世此處に遷座せしなりと

道頓堀

南區道頓堀の南岸東日本橋より西戎橋の間を云ふ近傍は南地五花

街と稱する遊廓にして大阪市中最も繁盛を極むる處なり南側には浪花座中座角座朝日座辨
天座等五座の劇場櫓を並べ北側の河岸には芝居茶屋割烹店櫓比し行人日夜群集其賑ひ他に比
なし往昔芝居茶屋は河岸に飯小屋を設けいろは四十八文字を以て番号を記し因て左の句あり
高臺にのぼりて見ればいろはに帆

千日前

道頓堀角座を南折せま處なり昔時千日寺在りまを以て其名あり維
新頃迄は此處は刑場の地にして墓石壘々野草生茂りたる荒地なりまが今は寄席見世物小屋及
雜貨店軒を列ね繁華頗る喧噪を極む北位に法善寺ありて本堂の傍らに金比羅權現あり三勝半
七の碑も又此境内にあり同寺の南に竹林寺あり門前に四ツ橋丁子堂の廣告大揭示場あり東南
に自安寺の妙見あり其南に新金比羅社あり何れも賽人常に絶へず

高津社

府社にして高津一番町に在り 仁徳天皇、仲哀天皇、神功皇后、應
神天皇、葦姫皇后、履仲天皇を合祀す初め貞觀八年東成郡比賣古智神社の境内に創立せまを天

正十一年今の地へ遷すと本社は南面にして土地高燥老松鬱然賽路を狭み途に有名なる梅の橋
あり又本社傍らに高倉稻荷神社を祀る境内石壘の上に舞臺を築き高臺の碑あり臺上より望
瞰すれば全市雙眸の中に集まり萬戸豊を茲へ縱横さながら基面を望むに似て勝景絶佳なり

廣田神社

今宮村廣田の森市内戎橋を距る南十丁余なり天照皇太神の荒靈を
祀る小祇園社、稻荷社の末社あり松樹鬱蒼境内を圍み自から崇神の心を起さまむ

今宮神社

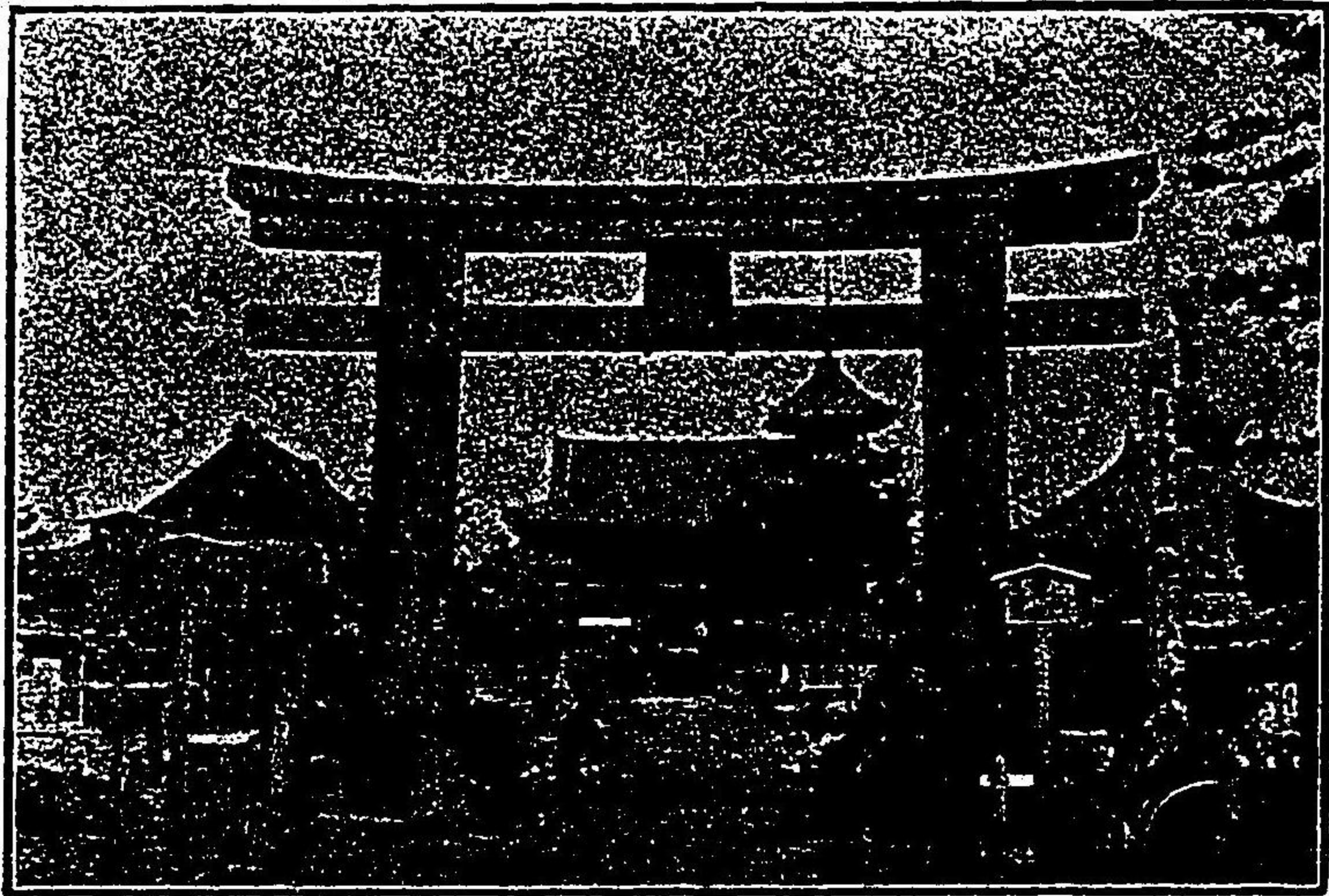
今宮の戎と稱す廣田神社の南にあり天照皇太神宮、蛭子尊、素盞鳴
命の三座を祀る社殿朴素境内別に風致なま毎年一月十日には十日戎と稱し參詣の貴賤未明よ
り蟻集し戎橋より本社迄の間は殊に往來織るが如く殆ど立錫の地なきに至る又南地五花街の
藝娼妓は一種粧飾ある駕に乗り一日往復數回本社に參詣す之れを寶惠籠と云ふ

商業俱樂部

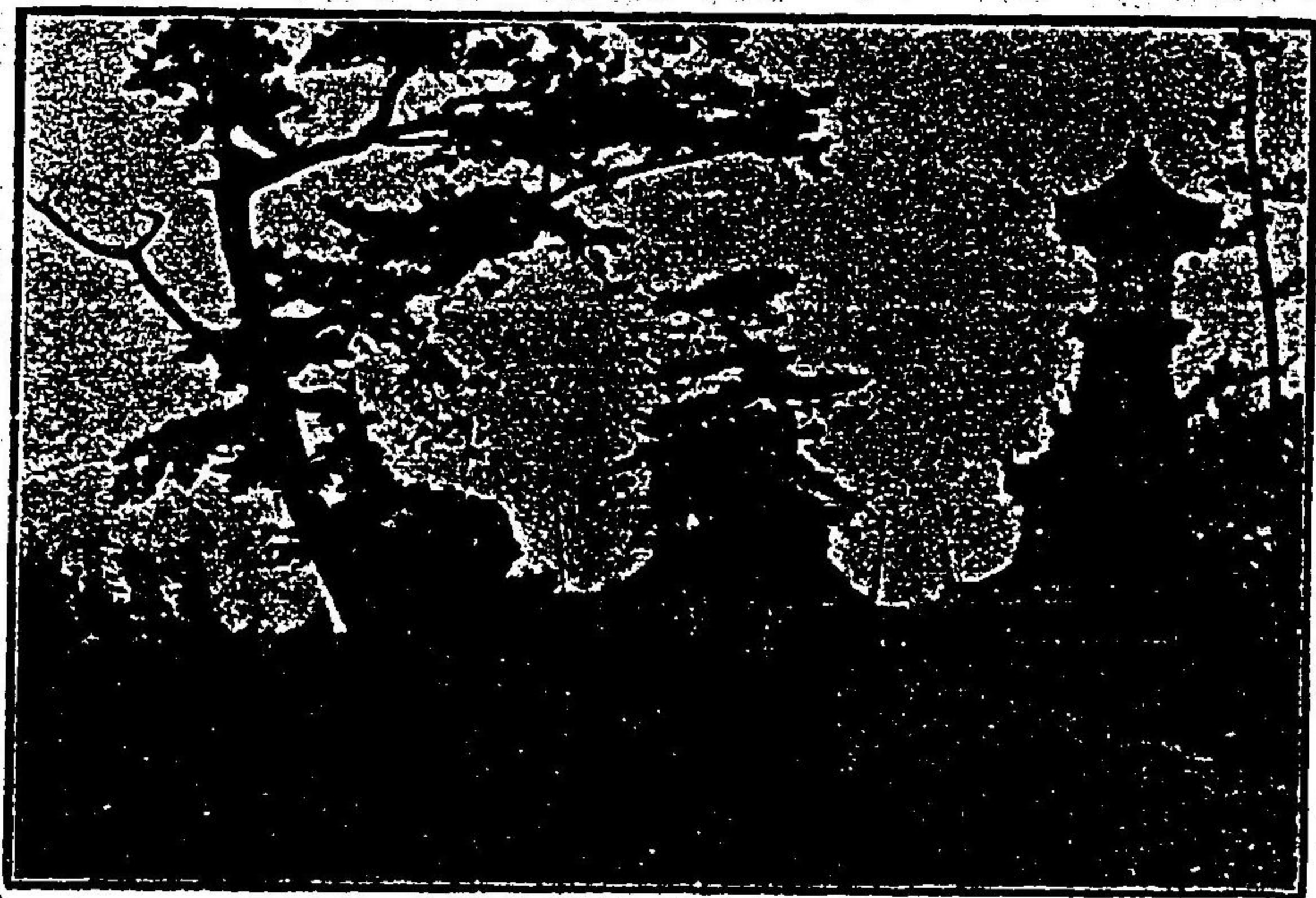
今宮村の東天王寺に至る途にあり洋風五層樓の建築にして構内茶
亭料理店等を設け園あり池あり勸工場には諸種の物品を賣捌けり

四天王寺

天台宗にして荒陵山と号す天王寺村に在り有名なる我國隨一の古刹なり今を距る千三百年の昔用明天皇の二年聖德太子初めて玉造の岸に創立之後推古天皇の元年今の地に移す天正及元和年間兵燹に罹りて焼失し寛文四年徳川家綱命じて再建せよめ以て舊觀に復す東西八町全南北六丁に餘る南を正門とし西の入口に石の大華表あり頂上の額は小野道風の筆なりと城内樓門あり五層塔は屹然雲表に峙ち傍らに金堂あり如意輪觀音を本尊とし彌勒佛波羅門四天王等の像を安し又佛舍利數粒を藏じ講法堂は太子の經を講せよ處古梵鐘は無常の鐘と号す六時堂は比叡山の中堂を摸せし處又東南部に太子堂あり聖德太子十六歳の尊像を安置し正門を猫門と稱し名工左甚五郎作の猫を置く六時堂と講堂との間に小池あり架するに石材の舞臺を以てす毎年聖靈會の時俗人舞樂を演ずる所なり其他皇后の宮三味堂、轉輪堂、龜井の水等枚擧に遑わらず賽人常に群集し就中春秋の彼岸會及千日詣等の際は頗る雜踏を極む



寺天王四



籠燈高吉住

茶臼山

天王寺の西南に方る縁樹鬱蒼たる一小丘なり古之れを荒陵と稱せり慶長年間豊臣秀頼此所に陣所を設け元和元年眞田幸村東軍と此地に戦ひて討死し又家康の陣を張る等所謂古戰場なり近傍に眞田の抜穴と稱する舊趾あり

邦福寺

禪刹にして俗に雲水と稱す茶臼山の傍らにあり庭園幽雅四季の味めに富み雅客の杖を曳くもの多し寺中客の需めに應じて普茶料理を出す

一心寺

天王寺表門の西逢阪の上に在り文治元年圓光大師の開基大師二十五ヶ所舊跡の一なり慶長年中総州佐倉清光寺の存岸上人大師の舊跡を尋ねて遠く茲に來り一千日禁足不眠の念佛を修し終に本山を再興すと云ふ本尊は長三尺の阿彌陀佛にして毘首羯摩天の作なりと本堂の東端に墳墓あり元和元年の役に戦死せし本多忠朝及其臣九名を葬る所又薬舖本林丁子堂の紀念碑も此境内にあり

新清水寺

一心寺の北懸崖の上にあり西南北の三方に石階を設けて賽路とす

本尊は聖徳太子御作の十一面観音にして元京都音羽山清水寺に在りまを寛永十七年當寺に遷せりと云ふ本堂の前に舞臺あり全市を眼下にして遠く淡路島を望む等風景殊に佳なり又境内紅葉阪の下に飛泉三條あり名けて音羽の瀧と云ふ

夕陽ヶ岡

新清水寺より東北に連りたる阜丘の名にして土地高燥西の一部を開き崖下は梅林にして又遠く菜園の青蒼たるを望む其絶景敢て清水の舞臺に譲らず岡中小高き所に藤原家隆卿の墳あり傍の菴を夕陽庵と稱し即ち卿の居趾なりと

遊行寺

佛智山極樂寺と号し夕陽岡の麓にあり聖徳太子の勝鬘經を講せし舊趾にして後時宗の祖一遍上人の寓せし處なりと本堂の傍らに芭蕉翁の像を置く又碑あり

住吉神社

住吉村に在り官幣大社にして底筒男命、中筒男命、表筒男命、息長足姫命を祀る神功皇后攝政十一年の創建なり鳥居は住吉街道にありて一條の賽路社前に通じ途に小池あり池上半月形の反り橋を架す社殿は総て四棟構造清雅頗る嚴肅にして神威の高き

を表す巨大なる千百の石燈籠は境内に充滿して他に其比を見ず毎年六月初旬には古代の神事たる御田祭を行ふ昔は堺乳守の遊女來りて御田を植るの式を行ひまが今は新町遊廓より水干緋の袴を着したるうたわ女を出して之れを行ふを例とせり又毎年七月三十日には大萩の神事を執行す境内及社前は古松蒼々一面に連り遠く海濱に接したる處に常夜燈を建つ之れを住吉の高燈籠と稱す

浪花屋笠松

住吉神社を出て南へ安立町の茶亭浪花屋の庭園にあり幹の高さ七尺枝葉の蔓こること周囲凡四十間余に及び殆ど笠を伏せたる觀あり

隆専寺

西高津源正寺阪の上にあり境内糸櫻の大樹多く以て其名を知らる花の爛熳たる頃は雅俗を問わず頗る熱鬧を極む

生國魂神社

西高津の北部に在り官幣大社にして生國魂大神足國魂大神を合祀す應神天皇の三年浪速の崎に草創し明應四年本願寺蓮如上人御堂の傍らに遷す天正年間信

長本願寺と戦ひし時本社亦兵火に罹り後神璽を鎮めて今の地に小祠を登じ慶長の初豊臣秀吉大阪城を築くに當り片桐且元に命じて本社を修造せよめ社領を寄附す社殿清整神の威嚴を示す北向八幡宮辨天之祠神樂殿及社務所等境内にあり又崖上に舞臺あり近くは南の眺望閣、商業俱樂部、木津川の千帆住吉の高燈籠、阪堺大阪兩鉄道線路の十字形を爲す處遠くは茶臼の浦、武庫の浦、摩耶、六甲の山嶽淡路島山等眺望頗る佳し

桃山

白の雲飄飄たるに似たり

生國魂神社の東數丁の處なり一面の桃畠にして花の候に至れば紅

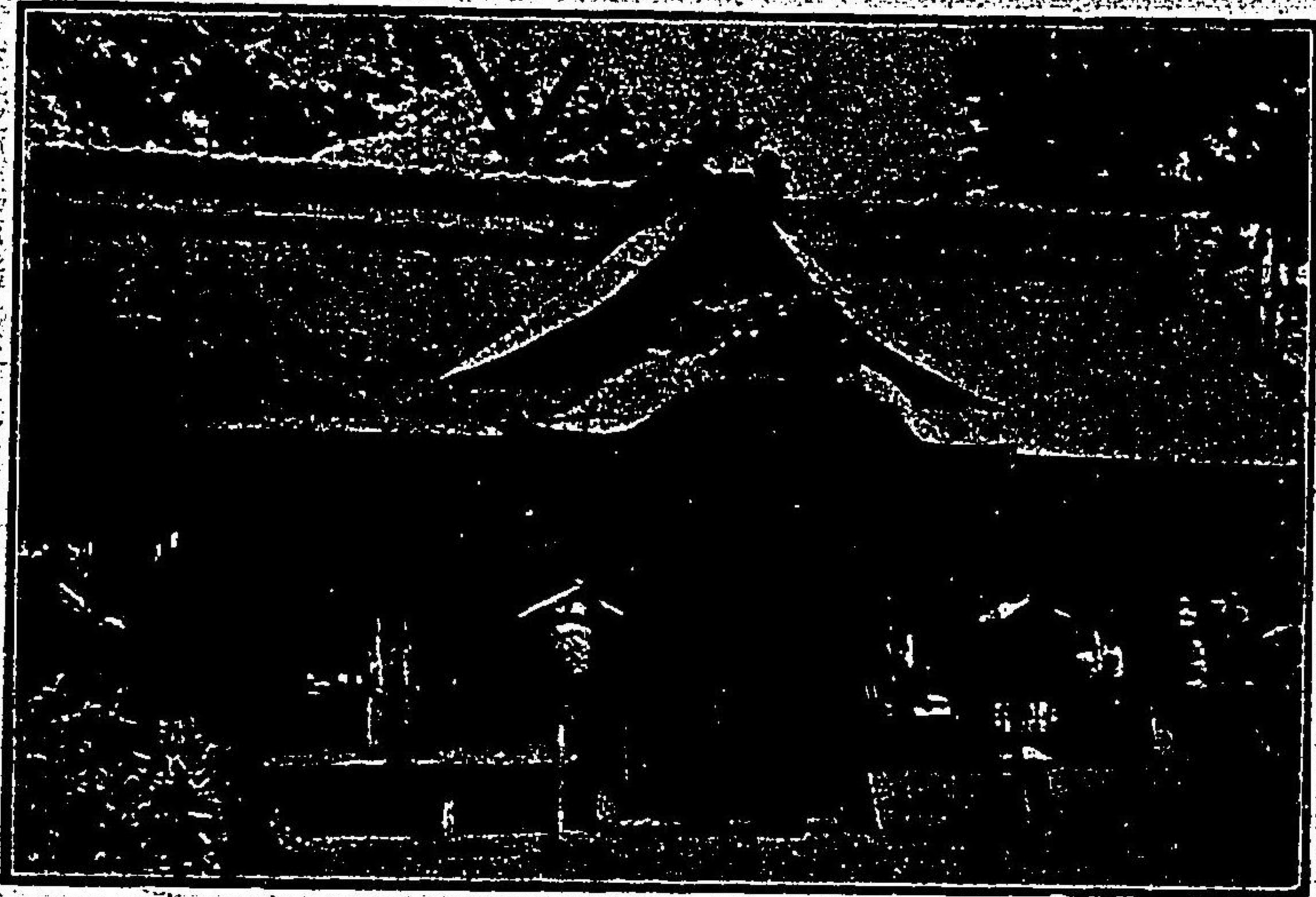
野中之觀音

遍明院と号す本尊は行基僧正作の十一面觀世音にして悪七兵衛景清の持佛なりしと堂の傍らに梅屋敷あり園中數百の梅樹を培養す

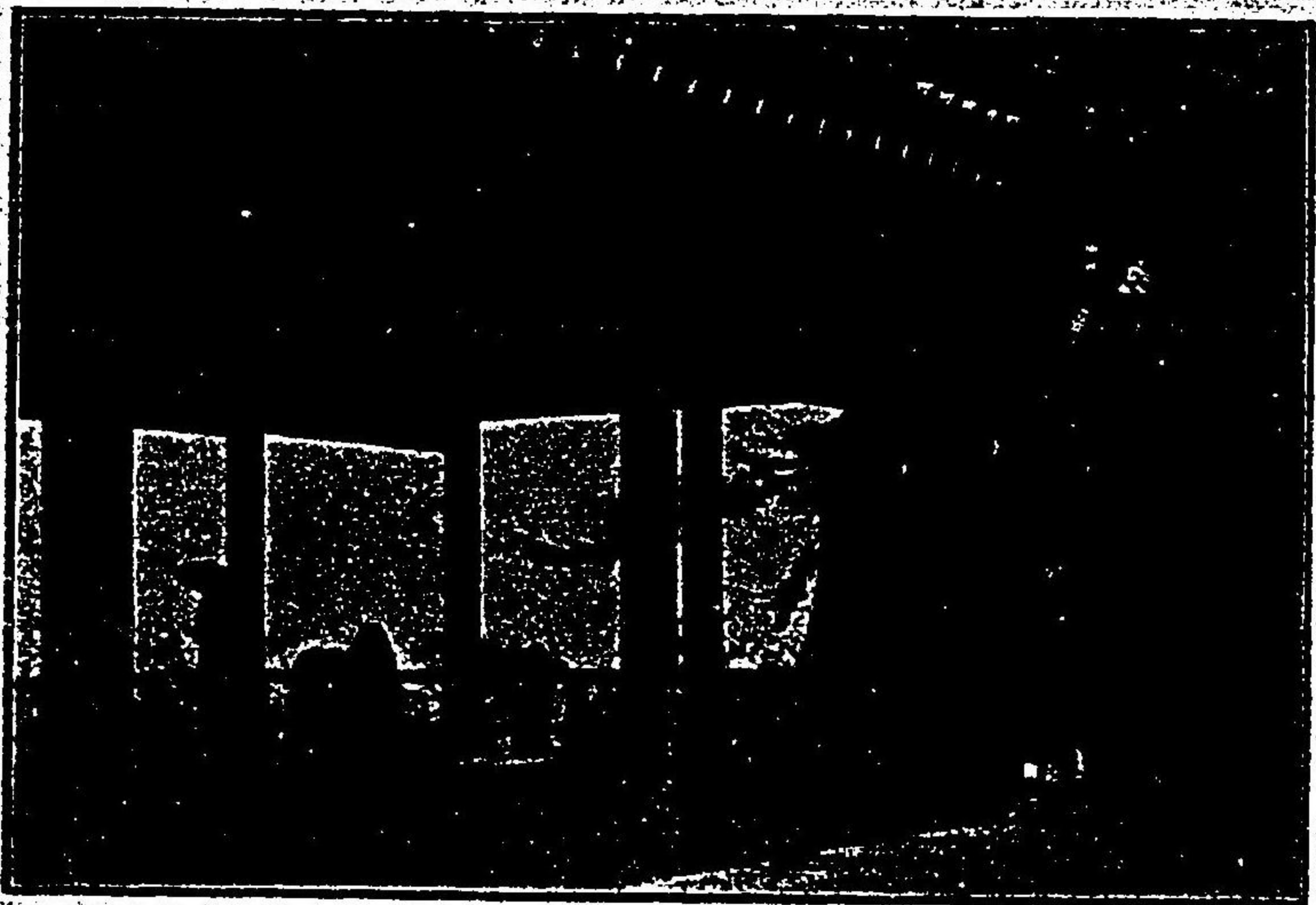
産湯之清水

桃山の東北産湯稻荷社の傍らに在り清泉浴々として涌出す即ち大

小橋命の産湯の水と云ふ此邊は太古味原の郷と呼び比賣古智神社の舊地にして味原の池一名



住吉神社



生國魂神社之舞臺

比賣古曾の御影池と云ふ在り大己貴命の御子味耜高彥根命の天降り玉ひま舊跡ならんと

豊津稻荷社

玉造村にあり玉造稻荷と稱す慶長八年豊臣秀頼の再興する處にし

て倉稻魂を祀る本社の背後に舞臺あり

大長寺

北區網島より櫻之宮に至る途にあり本尊は惠心僧都作の阿彌陀佛

なり境内に鯉塚あり寛文年間此里の漁夫の子にたがるでの音吉なる者淀川にて鱗に金色なる
巴の紋を付たる巨鯉を捕ふ寺僧之れを元和年間に戦死せし勇士の靈なりと云滌登鯉山と法号
して茲に葬る今猶寺に其鱗を藏す又傍らに堺筋の商人たりし紙屋治兵衛及其情婦小春の墓あり
り亨保七年共に寺内に於て情死を遂げ今に至る迄浮名を流せり兩人が遺書又此寺に存す

櫻之宮

大長寺を距る數丁淀川の東岸に在り本社は皇太神社と稱し天照皇

太神宮を祀り老松社殿を擁す堤上數丁の間には櫻樹枝を交へ對岸は淀川の清流を隔て造幣局
と相對ま花候の景色殆ど墨陀に似たり北に都島と稱する處あり大阪市内水道の水源地なり

府立博物館

東區本町橋東詰北にあり表門は東横堀通に設け裏門は松屋町通に
通す正面に美術館あり新築の洋館にして天井は法隆寺天王寺等の古書を模寫し床板は各種の
木材を接合する等關西屈比の建物たり館内古書畫古器物の類を陳列し参考品とす又去る鷄林
牙山の役に分捕りせえ清國の軍器軍服等を館の一隅に陳列して一般に觀覽せよめたりと場内
別に數棟の陳列室を設け諸種の物品に正札を附し隣りて便に供す能舞臺茶室花園動物園
茶亭等皆場内に在り

露天神社

北の newly 二丁目の裏手より北野村に至る途中に在りて道實公を祭
る菅公筑紫へ左遷の途次福島より上陸して此地を過ぎし時路上露深かりければ「露どちる涙
は袖に朽にけり都のことを思ひ出れば」と吟じ玉ふ後其舊地を下まて神祠を營みよと云ふ

夕日ノ神明

北野村の西老松町の裏手にありて天照皇太神宮を祀る昔左大臣融
公浪速遊覽の際本社を創立し後文治年間源義經、梶原景時と逆艦の事を論ずるや義經本社

へ黄金を寄附す祈願する所あり又

後醍醐天皇の御宇當社を以て勅願所とせられ 天皇屢々

行幸あり頗る巍巍たる大社なりよが足利尊氏の代兵燹に罹り爾後修造すること數回今は僅か
に舊跡を存するに過ぎず因に云ふ朝日の神明及日中の神明は松屋町の東手に鎮座す

逆艦之松

上福島村橋爪町の北側にあり今は唯長さ數間の枯幹を見るのみ其
幹の巨大なるを觀ても千載を經たる老松たるを知る

太融寺

北野村に在り弘仁年間弘法大師の開基にして其當時は桂木寺と号
し承和年間左大臣源融公仁海上人に命じて大に佛殿を修補せよめ改めて太融寺と稱す本
尊は千手觀音にして別に毘沙門、地藏尊を安す境内に大師堂、西國觀音堂、庚申堂、不動明王堂
大黒天辨才天、行者堂等あり又藤の棚ありて蔓莖數十坪に亘り花季頗る賑ふ寺内西北の隅に
淀君の碑あり

北野天神

本社に菅公の敷きの給ひま綱の圓座を藏す故に綱敷天神と云ひ太融

寺の北に在り

凌雲閣

北野村に在り九層の高樓にして明治廿一年の新築たり頂上に登れば四方眼界を遮るものなく四季の眺望快云ふべからず

豊崎宮舊趾

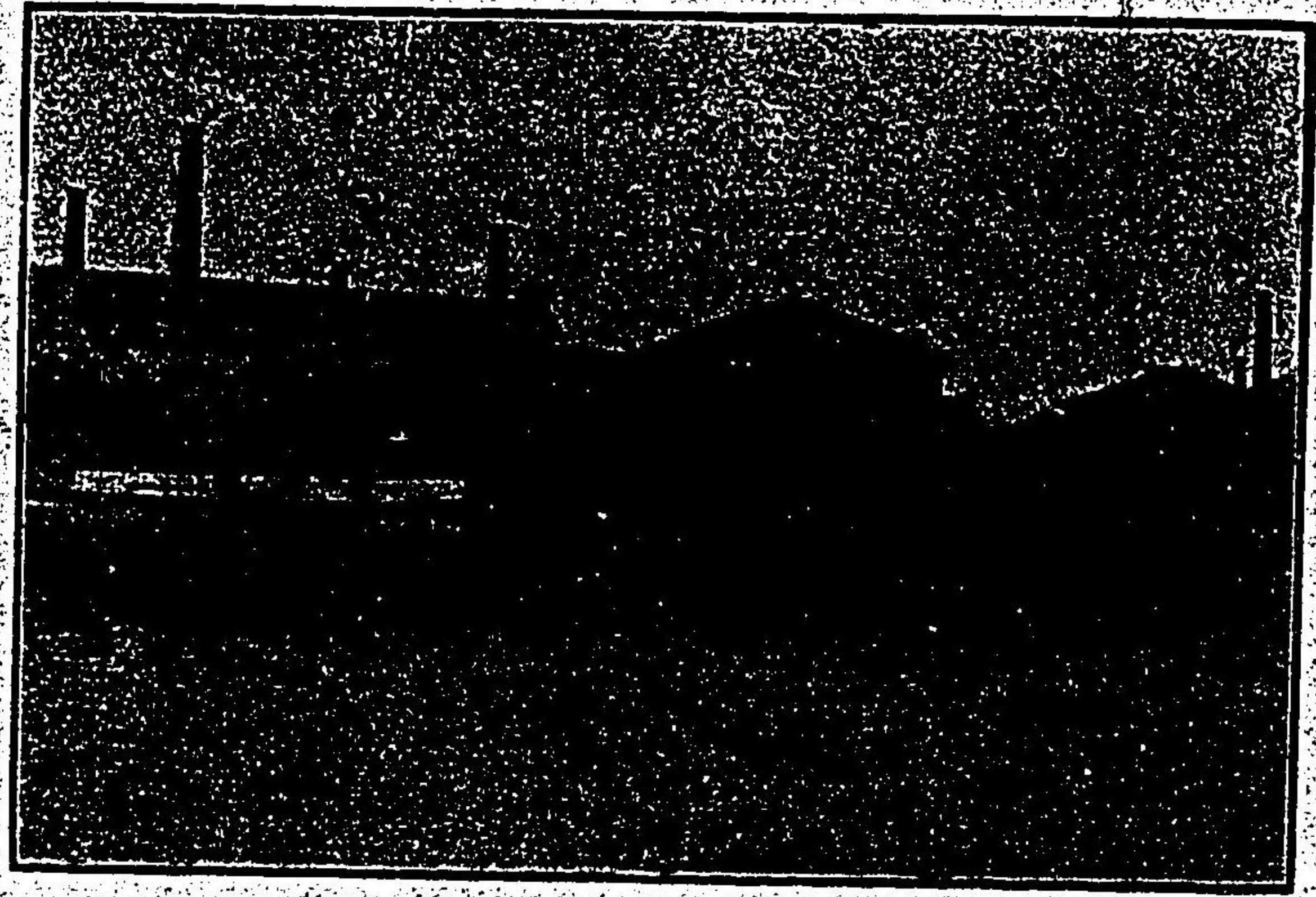
豊崎村本庄の内中津川の南岸にあり孝徳天皇の白雉二年十二月都を此地に遷して豊崎の宮と稱せり今は僅かに標木を建て其舊趾たるを知らしむるのみ

宗禪寺

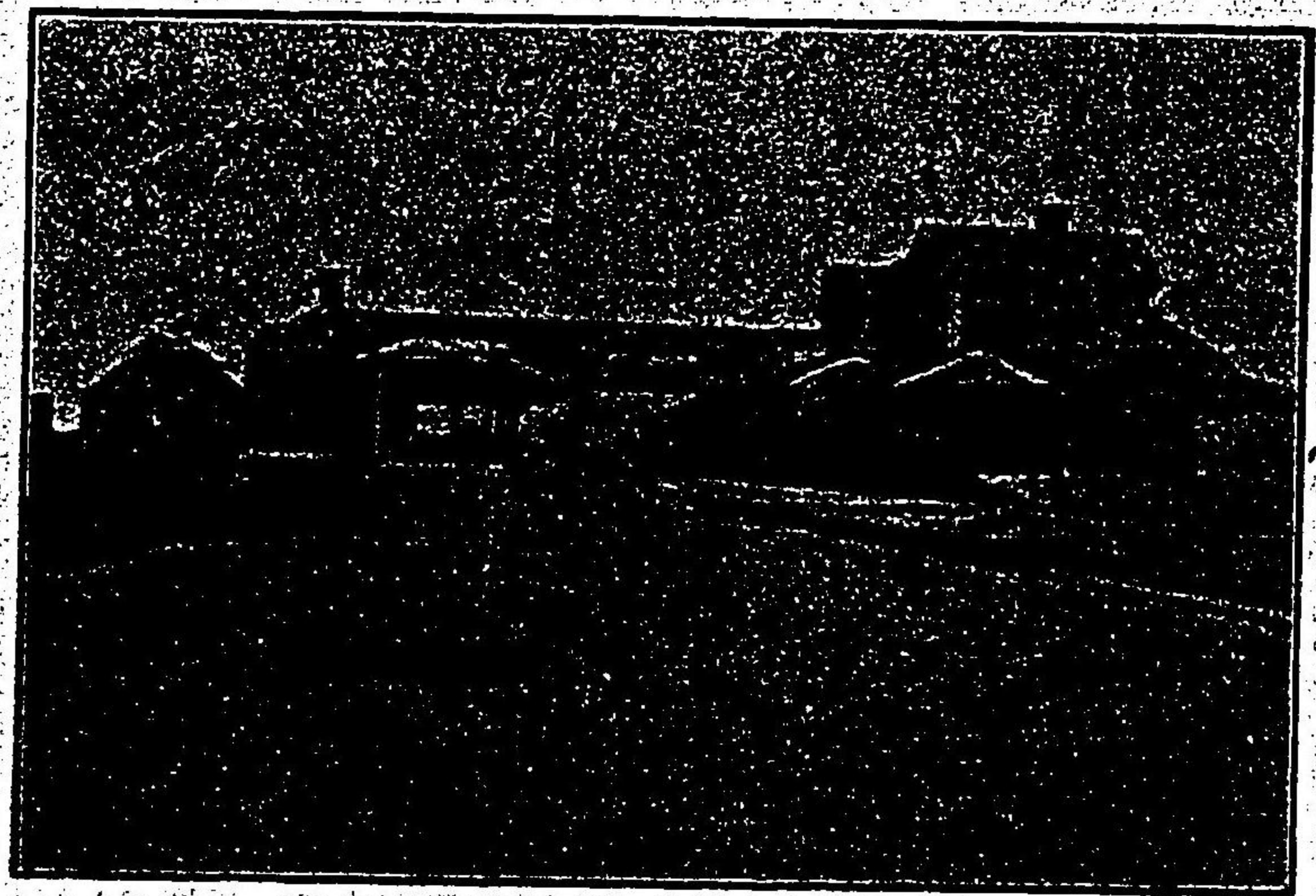
北中島村にあり亨隣和尚の開基嘉吉二年細川持賢の創建將軍足利義教の菩提所なり正徳年中大和國郡山の士遠藤重次、安藤光乗の兄弟傍らなる崇禪寺馬場に於て敵生田傳八郎の爲に返討に遇ひ死す其墳墓此境内に在り両士が怨を込めたる遺物今猶此寺に存す

江口里

淀川の分流して神崎川となる處今の江口村を江口の里と云ふ數百年前は都に上る通路にして船舶輻輳旅店妓樓等櫛比最も繁華を極め去地なり其頃此里に妙と



造幣局



梅田ステーション

呼べる遊女ありて西行法師と和歌の贈答をなせり世人之を江口の君と云ふ又江口村の北に江口の城趾あり天文十八年三長好慶の從弟同苗宗三の據し處にして俗に中島の城と稱せまよし

鶴 満 寺

豊崎村の南長柄にあり延享年間忍鏡上人の再興する處本尊は慈覺

大師作の阿彌陀佛なり此寺に西國秩父阪東等合併の觀音堂あり世俗百躰觀音と云ふ境内の梵鐘は古色蒼然長門の國主毛利氏の寄附する處大平十年二月云々と銘す晋の二世惠帝大平十年

は我 應神天皇三十二年に當る因て此梵鐘は今を距る凡千五百年前のものならんか又有名なる糸櫻あり花の盛には雅俗の客騶然たり「くり返し見ては暮なん入相のかねて名合りき糸櫻哉」

福島天神社

福島村に在り上ノ天神、中ノ天神、下ノ天神の三社に分れ各々菅原

道實公を祭る菅公筑紫へ遷されまとき此島に船繋りま給ひ所の名を尋ねらる里人答へて餓鬼島なりと菅公曰く是れ不祥の名なり改めて福島と名乗らば後世繁昌すべしと後本社を勸請せしと云ふ

妙徳寺

上福島村上ノ天神を距る一丁斗り俗に五百羅漢と云ふ鐵梅和尚の開基正徳年間南源和尚の創立なり本尊は釋迦如來にして周圍に五百羅漢の像を列す

浦江の聖天

五百羅漢の西北數丁浦江にあり了徳院と稱す本堂には歡喜天を祀り香燈常に絶へず境内の池に蓮燕子花を栽培し近傍掛茶屋多し

野田乃藤

野田村春日神社の境内にあり藤樹蔓莖古松に纏ひ又幾多の藤棚を架す本社は藤原の祖先を祭り傍らに池の跡あり貞治年間足利義詮住吉參詣の途此地に來り池を野田の玉川に擬し「いにしへのゆかりを今も紫のふじなみかゝる野田の玉川」と詠じ給ひし傍らに碑ありて其歌を刻めり又藤の庵と云ふあり文祿年間豊臣秀吉の藤花を遊覽せよ茶亭の跡なりと本社南にある某家の座敷に蔭藤と云ふありて其名高し

圓満寺

野田村春日神社の南隣にあり天正元年佐々木定頼日蓮宗の僧徒と共に本願寺の證如上人を山科に攻む上人逃れて此處に來りしを定頼等追撃猶止まず野田福島

の門徒防戰勉めて終に上人を援く本寺は其舊跡なり其時戰死せよ門徒廿一名の靈を吊するが爲天文二年境内に石碑を建立し今猶存せり

長樂寺

北野を距る西北五十丁三津屋村にあり法道上人の開基後慶長年間奥州の宥俊阿闍梨の再興なり本尊は長三寸黄金の藥師如來にして又日光月光十二神將を安す境内に大師堂あり本尊弘法大師の像は同大師の直作にして高野山清淨院の像と同じく養保二

年三月二十日即ち大師入寂の前日其彫刻を終りまを以て世に二十日大師の名殊に高し

天保山

安治川口の南岸にある岡阜なり天保二年安治川を浚深し其土砂を此所に積んで高阜を築き船舶入津の目標とす後此地に砲臺を築き又高燈を建つ明治五年舊燈を廢し其跡に燈臺を新設す木造四角形第四等燈臺不動白色にして海上十二海里を照す

淡住吉神社

九條村にあり祭神は住吉の本社と同じ九條島開拓の時香西哲雲荆棘を刈取り茲に本社を創建せよと云ふ昔は境域頗る廣宏たりまも現今は殆ど舊觀の半ばにも

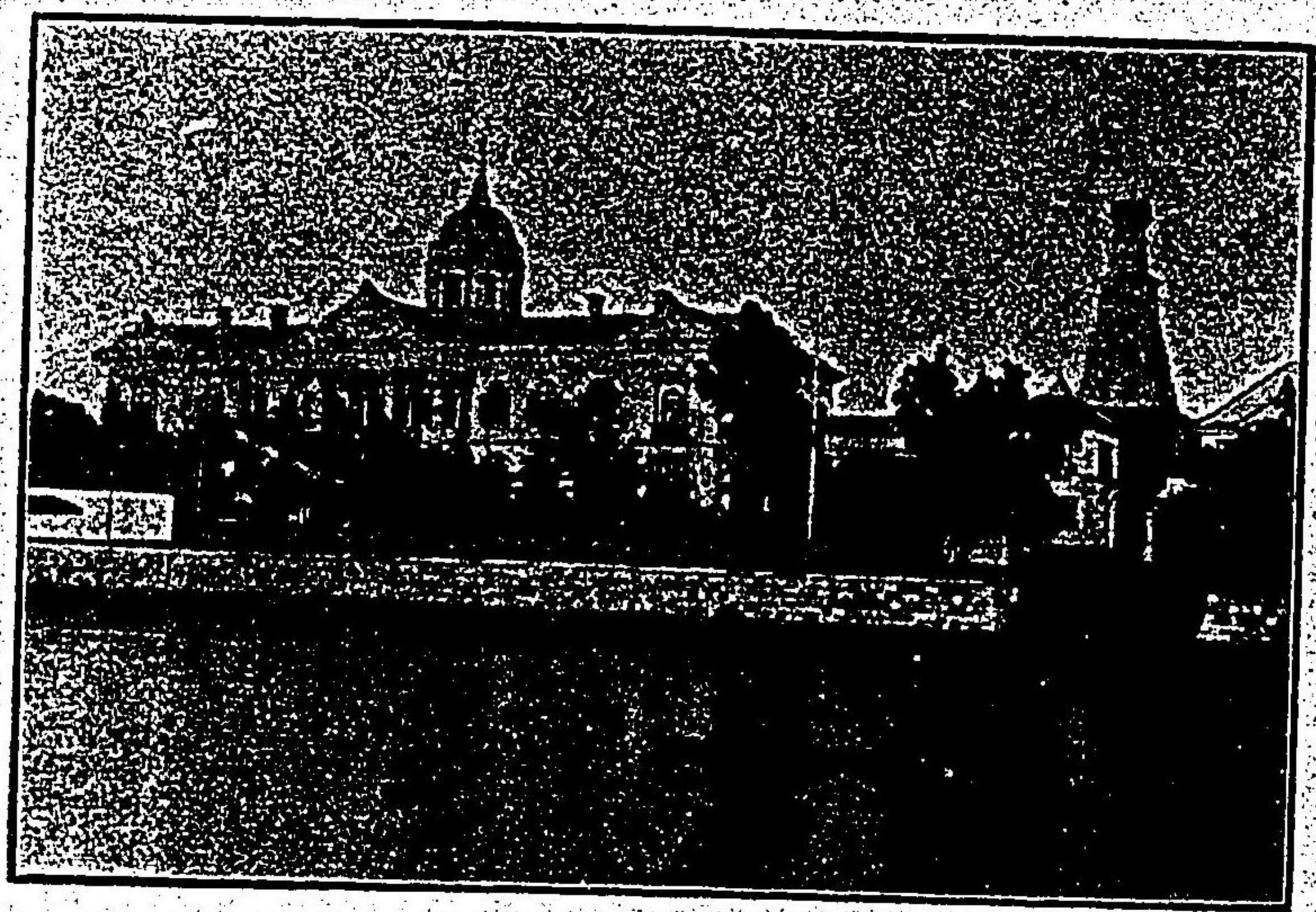
過ぎす

瑞龍禪寺

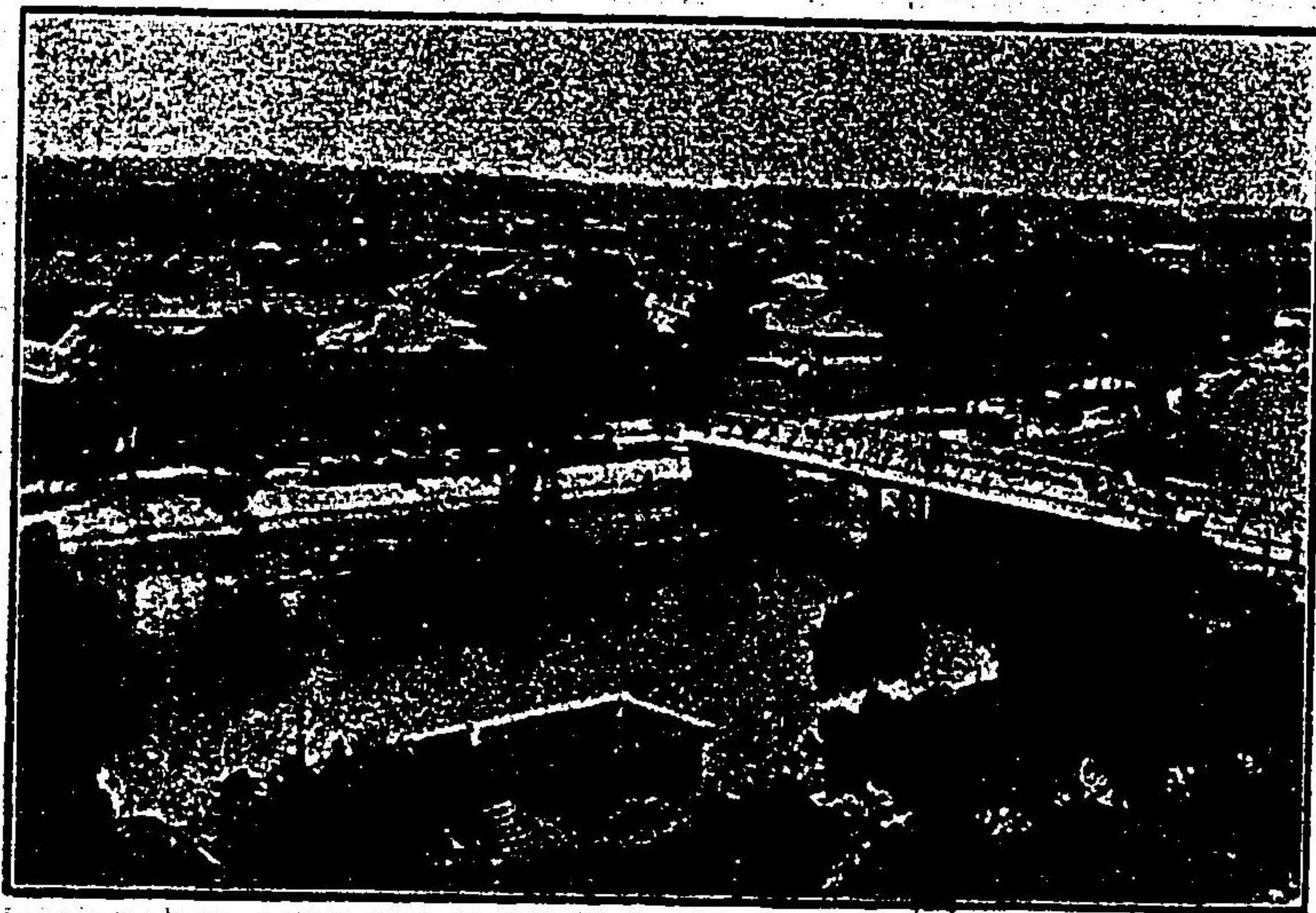
慈雲山と号し難波村の北部に在りて鐵元和尙の建立たり本尊は藥師如來にして又十二神將を安す天王殿には彌勒佛四天王韋駄天の像を置き別に禪堂、禪悅堂、祠堂、鎮守社等あり初めは藥師寺と稱し一の村寺たりまが寛文十年和尙茲に來住ま後延寶四年に至り此宏潤なる堂宇を創建せしと云ふ鐵元和尙は黃檗山木菴禪師の徒弟にして德學並高く世人の渴仰深かりしと今に其名を以て鉄元寺と云ふ境内に半時菴淡々翁の墓あり

難波八坂神社

難波村に在りて素盞鳴命を祀る社殿清酒境内八王子社、稻荷社、天神社等の末社あり古は佛寺にして七堂伽藍及末寺十數坊あり頗る壯麗を極めたりま



大阪府廳及警察本部



外國人居留地

大阪府會議員氏名

(明治廿七年
一月改正)

篠中榮 播山全 澁見西 北藤檀 田中矢 大深本
川井國 本口田 谷市尾 村野村 川野西 田林
利一傳 孝俊正 乘禎吉 富藤久 六佐卯 與平
兵 太十 次 衛吾吉 郎郎 郎次 郎
祐馬衛 良洞 郎郎 保次 郎衛 吾吉 郎郎 郎次 郎

安中田 西山大 福西片 大野林 門井田 井長川 砂
尾島中 條澤井 井島山 和浦永 利淺謙 喜平 源雄
亮米 助左衛 與三太 卜榮喜 和浦永 利淺謙 喜平 源雄
三藏門 郎郎 新 郎郎 助 郎三 助 郎吉 治 衛 郎峻

小武小 木南秋 中與小 織松道 小森紀 岡山馬
山部山 寺月谷 村林井 下山本 下場
忠三 立重 四郎 清元 德梅 了吉 太松 久璋 秀重
兵 太 左衛 十 太 司 惠助 郎兵 兵 司 吉 威
衛 郎 門 郎 造 郎 司 助 茂 衛 衛 司 吉 威

三藤木 北古北 南森寺 森里永 森石南 木高松
宅井村 野屋田 田倉本 井田川 岡岡下
幸平 權三 宗豐 源米 隼清 元仁 作伊 英慎 彌廣
四治 右衛 三三 十十 之兵 治太 三三 太三
郎郎 門郎 郎郎 藏助 衛郎 助郎 助郎 郎平 郎郎

大阪市會議員氏名

(明治廿七年)

●三十六

本林平三郎 藤田文助 梶川兵衛 湖川治郎七 西田榮次郎 牧野清兵衛 乾野利右衛門 阪上新次郎 和田保次郎 中村安右衛門 吉岡又次郎 中西庄三郎

長尾藤三 細原清太郎 古畑寅造 山中嘉兵衛 奧村善右衛門 小西和三郎 前川彦十郎 野口茂平 河野佐兵衛 播本孝貞 竹田與右衛門 野田吉兵衛

横田虎彦 岡本音三 西村輔吉 北田音吉 小森理吉 友田熊次郎 泉田仁三郎 米澤源三郎 松村九兵衛 泉由次郎 横田六三郎 近藤喜祿

樋口重兵衛 後藤玉城 永田仁助 森田作太郎 扇谷五兵衛 貴田孫次郎 杉山小次郎 葛野調兵衛 西岡卯兵衛 小野林之助 小野藤助 泉野清左衛門

大阪市参事會會員氏名

河合利兵衛 播本孝貞 松村九兵衛

後藤玉城 上田武藏

早瀬太郎三郎 中井一馬

佐野與兵衛 石川市兵衛

大阪市内郵便為替取扱所

(東區) 船場郵便電信支局 瓦町郵便為替取扱所
 (西區) 川口郵便電信支局 長堀郵便為替取扱所
 (南區) 高津郵便電信支局 順慶町郵便為替取扱所
 (北區) 大阪郵便電信局 櫻橋郵便為替取扱所

●備考 四ッ橋の本林丁子堂へ郵便為替を送達せんとするには順慶町取扱所へ取組めば便利なり

大阪市内各銀行所在地

第一 國立銀行大阪支店 東區高麗橋通三丁目
 日本 銀行大阪支店 東區大川町
 第三 國立銀行大阪支店 東區本町四丁目
 第五 國立銀行大阪支店 西區立賣堀北通五丁目
 第九 國立銀行大阪支店 東區横堀二丁目
 第十二 國立銀行大阪支店 東區淡路町四丁目

●三十七

第百三十三	國立銀行	東區今橋	貳丁目
第十七	國立銀行大阪支店	西區土佐堀	貳丁目
第二十二	國立銀行支店	西區土佐堀	通二丁目
第二十九	國立銀行支店	西區鞆	中通三丁目
第三十二	國立銀行	東區淡路	町二丁目
第三十四	國立銀行	東區高麗橋	四丁目
第三十七	國立銀行支店	西區北堀江	通六丁目
第四十二	國立銀行	西區江戶堀	南通三丁目
第五十八	國立銀行支店	西區北堀江	通五丁目
第七十三	國立銀行	西區北堀江	一番町
第七十八	國立銀行支店	東區南久太郎	町一丁目
第七十九	國立銀行	東區本町	二丁目
第八十九	國立銀行支店	西區北堀江	通三丁目
第一百十九	國立銀行支店	西區西長堀	南通五丁目
第一百二十一	國立銀行	東區南久寶寺	町二丁目
第一百三十	國立銀行	東區高麗橋	三丁目
第一百三十六	國立銀行	東區北濱	二丁目
第一百四十七	國立銀行支店	西區立寶堀	南通五丁目

第百四十八	國立銀行	東區唐物	町二丁目
三井	銀行大阪支店	東區高麗橋	二丁目
虎屋	銀行	南區順慶	町二丁目
逸身	銀行	東區備後	町二丁目
大阪貯蓄	銀行	東區伏見	町三丁目
小田	銀行	西區新町	通一丁目
大阪共立	銀行	北區中之島	三丁目
宇和島	銀行大阪支店	西區北堀江	三番町
湖龜	銀行	東區備後	町四丁目
木原	銀行	東區安土	町壹丁目
大阪商業	銀行	東區博勞	町三丁目
中立	銀行	西區西道頓堀	金屋橋西

浪花の琴尾

明治廿七年十二月二十四日印刷
明治廿七年十二月三十日發行

著作兼發行者

大阪府南區北炭屋町八番屋敷
寄留東京府平民
太田源太郎

印刷者

大阪府東區內平野町貳丁目百六番屋敷
安進舎
眞下猶吉

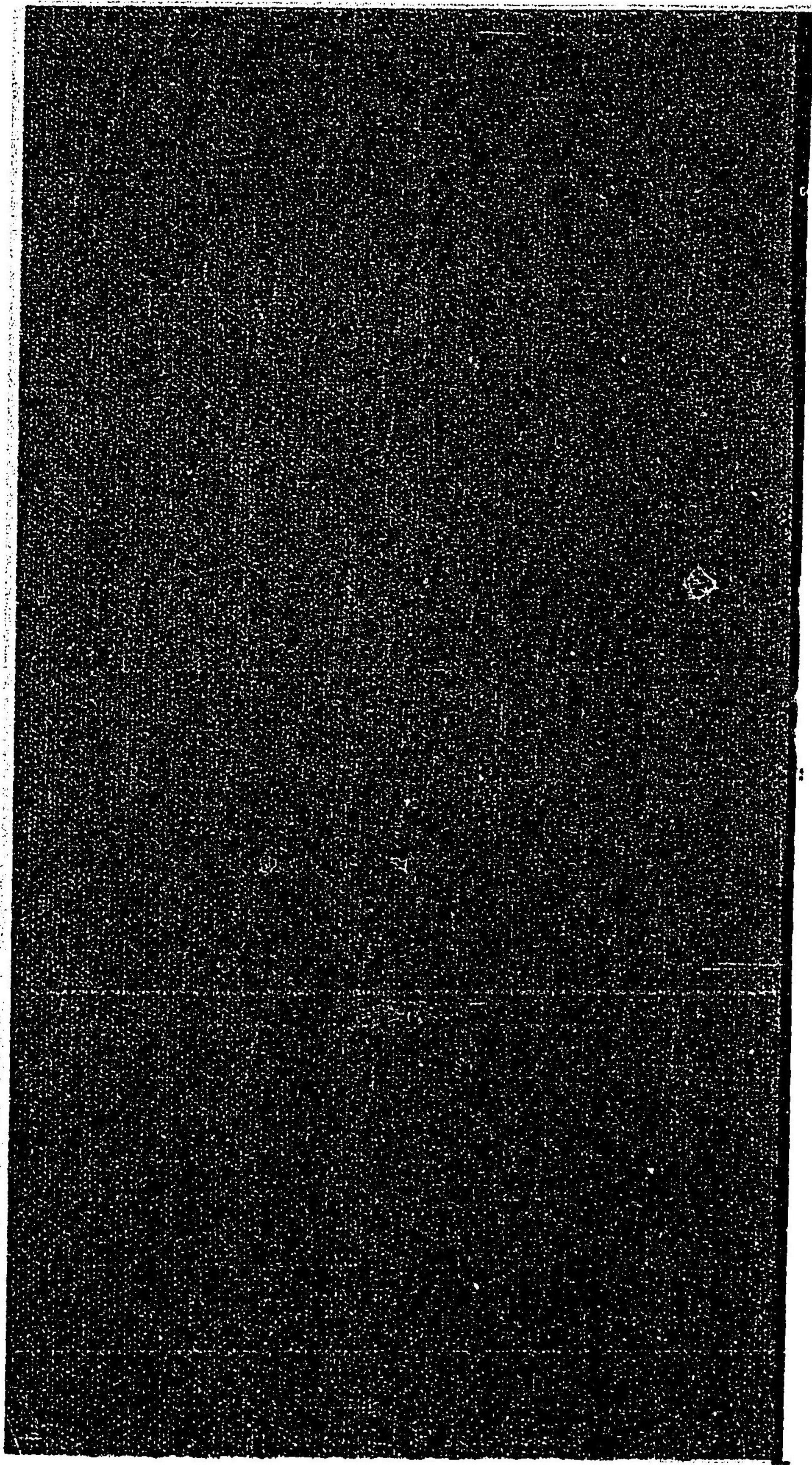
非賣品

EX 138

178

EX 139

CTE



9
L

025559-000-2

特29-991

浪華の葉

太田 源太郎/著

M27

ADC-3050



特
9